

# 2025 年度須坂市高齢者等実態調査結果について

## (アンケート調査結果の概要)

### 1 調査の趣旨

第十一次須坂市老人福祉計画、第十期須坂市介護保事業計画の策定にあたり、高齢者等の日常生活実態及び介護者の介護実態を把握し、本市における地域を含めた課題整理を行い、地域包括ケアシステムの深化・推進とサービス基盤の方向性を検討し、将来推計の基礎資料を得るため、2025 年 12 月に本調査を実施しました。

### 2 調査の内容

#### (1) 元気高齢者等実態調査

要介護状態になる前の高齢者に対する「要介護度の悪化につながるリスクの発生状況」及び「要介護度の悪化に影響を与える日常生活の状況」のアンケートを実施し、地域包括ケアシステムの深化・推進、地域特性の抽出とサービス基盤の方向性を検討するための基礎資料を得ることを目的としています。

|            |                                                      |
|------------|------------------------------------------------------|
| 調査対象者      | 須坂市に居住する要介護認定を受けていない第 1 号被保険者のうち、500 人を調査対象者としてしました。 |
| 調査方法       | 無作為抽出                                                |
| 配布・回収方法    | 郵送により調査票を配布・回収しました。                                  |
| 調査票の配布・回収数 | 調査票配布数：500 件      回収数：388 件（回収率 77.6%    有効数 386 件）  |

#### (2) 居宅要介護・要支援認定者実態調査

上記に加え、介護する家族に対するアンケートを実施し、「地域包括ケアシステムの深化・推進」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を含めて、介護給付サービスをはじめ各種の「量の見込み」を設定するための基礎資料を得ることを目的としています。

|            |                                                                          |
|------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象者      | 須坂市に居住する要支援 1・2 及び要介護 1～5 の認定者で施設入所していない第 1 号被保険者等 1,700 人を調査対象者としてしました。 |
| 調査方法       | 無作為抽出                                                                    |
| 配布・回収方法    | 郵送により調査票を配布・回収しました。                                                      |
| 調査票の配布・回収数 | 調査票配布数：1,700 件      回収数：1,200 件（回収率 70.6%    有効数 1,163 件）                |

#### ※調査結果概要について

○回答の比率（％）は、その質問の回答数を基数として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、単数回答の質問においては、比率の合計が 100.0% ちょうどにならない場合があります。また、複数回答可の質問においては、比率の合計が 100.0% を超えることがあります。

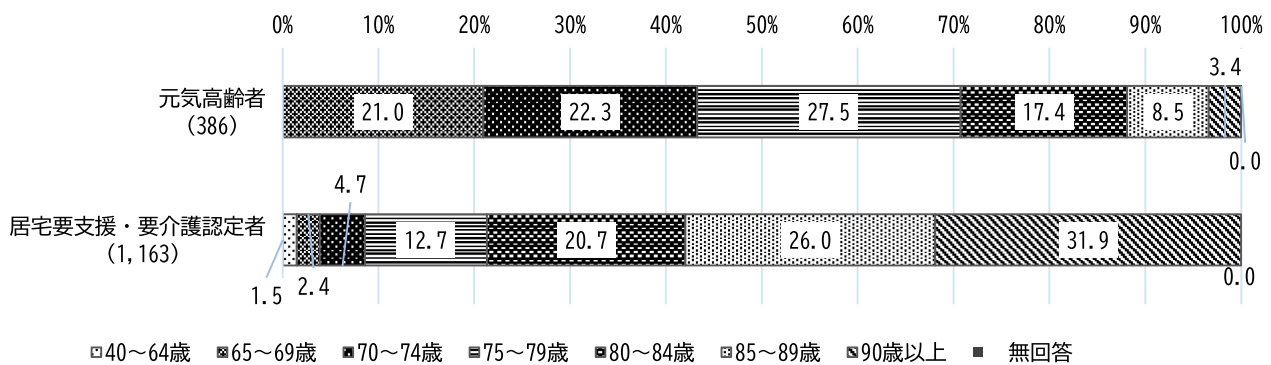
○図表の質問のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。

### 3 実態調査結果

#### ① 高齢者の生活・介護に係る実態調査結果

##### 【基本情報】 年齢

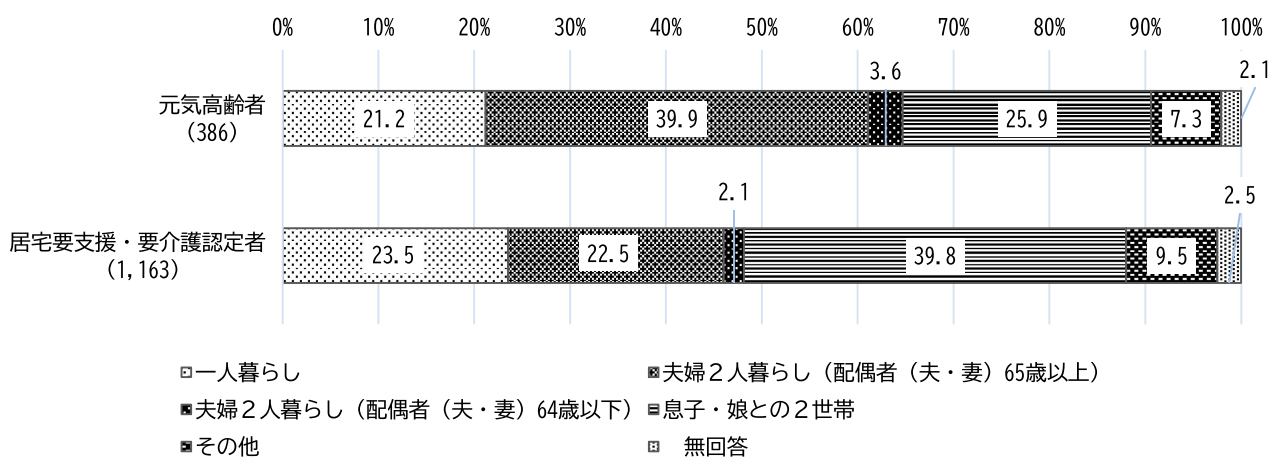
元気高齢者では 74 歳以下の前期高齢者が 4 割以上となっているのに対し、居宅要支援・要介護認定者では 75 歳以上の後期高齢者が 9 割以上となっている。



##### 【基本情報】 家族構成

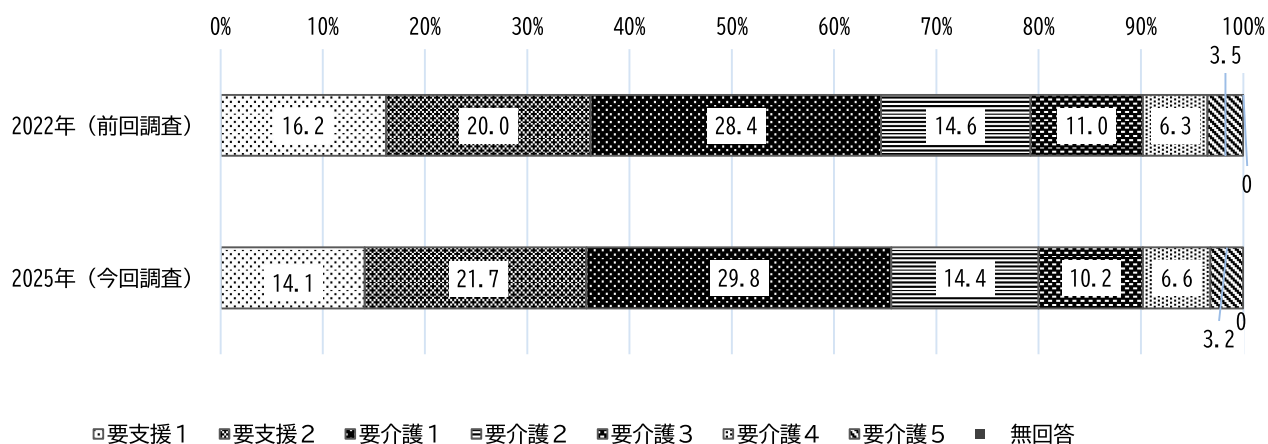
○元気高齢者では、「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が最も多く、居宅要支援・要介護認定者では「息子・娘との 2 世帯」が最も多くなっている。

○「一人暮らし」が、元気高齢者と居宅要支援・要介護認定者等とともに 2 割以上となっており、『高齢者のみの世帯』（「一人暮らし」＋「夫婦 2 人暮らし（配偶者 65 歳以上）」）は元気高齢者で約 6 割、居宅要支援・要介護認定者で 4 割以上となっている。



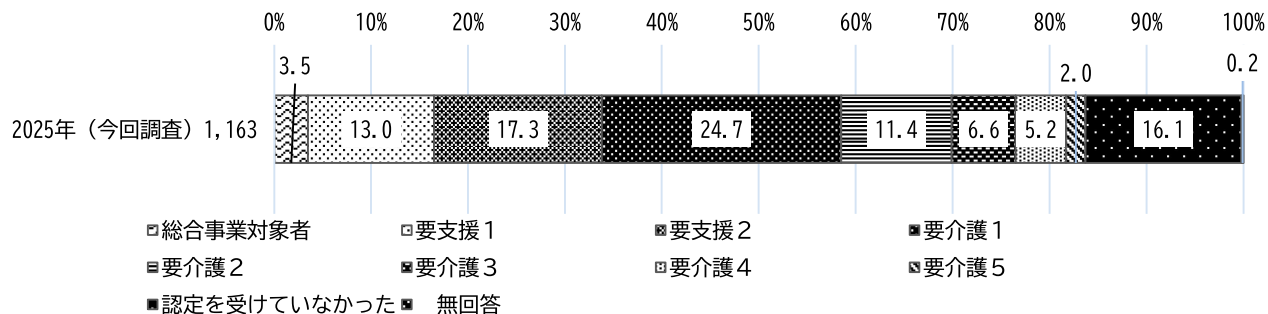
【基本情報】 現在の要介護度（居宅要支援・要介護認定者のみ）

「要支援」が3割以上、「要介護1～2」が4割以上と、比較的要介護度が軽い方が多い。



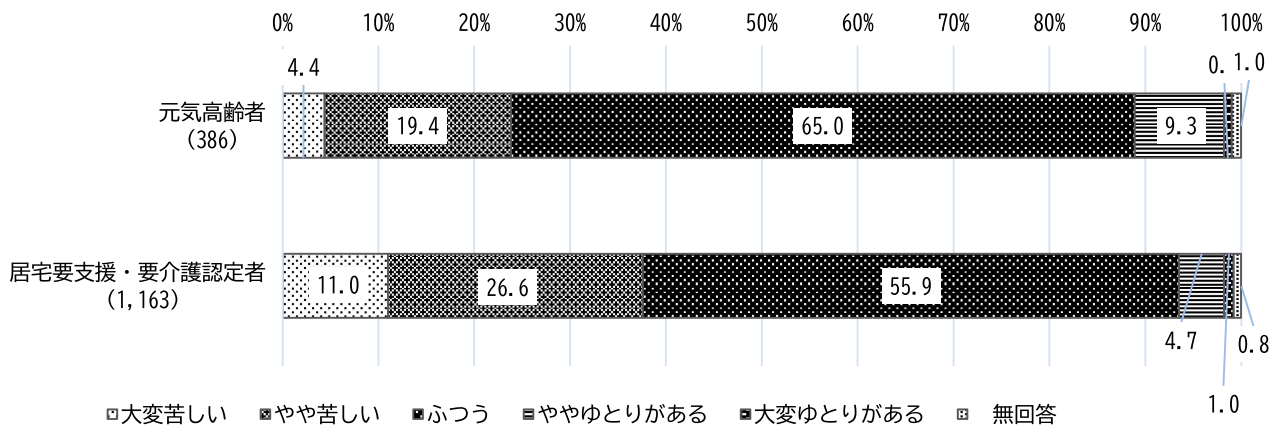
【基本情報】 1年前の要介護度（居宅要支援・要介護認定者のみ）

「総合事業対象者」と「認定を受けていなかった」をあわせた2割弱が介護申請により新規で要支援あるいは要介護認定となった。



## 1 経済的にみた暮らしの状況

元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等ともに「ふつう」が6割前後で最も多くなっているものの、「苦しい」（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）が『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ややゆとりがある」）を上回っており、居宅要支援・要介護認定者の方が顕著にみられる。

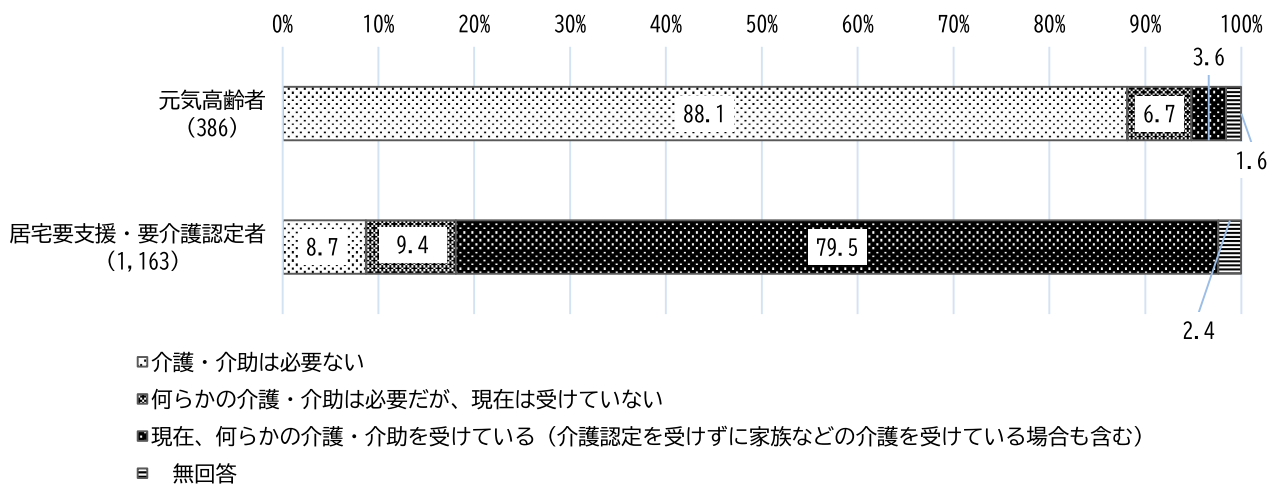


## 2 介護の状況

### (1) 日常生活上の介護の必要性

○元気高齢者では「介護・介助は必要ない」が9割弱となっている。

○居宅要支援・要介護認定者では「現在、介護・介助を受けている」が8割近くとなっている。

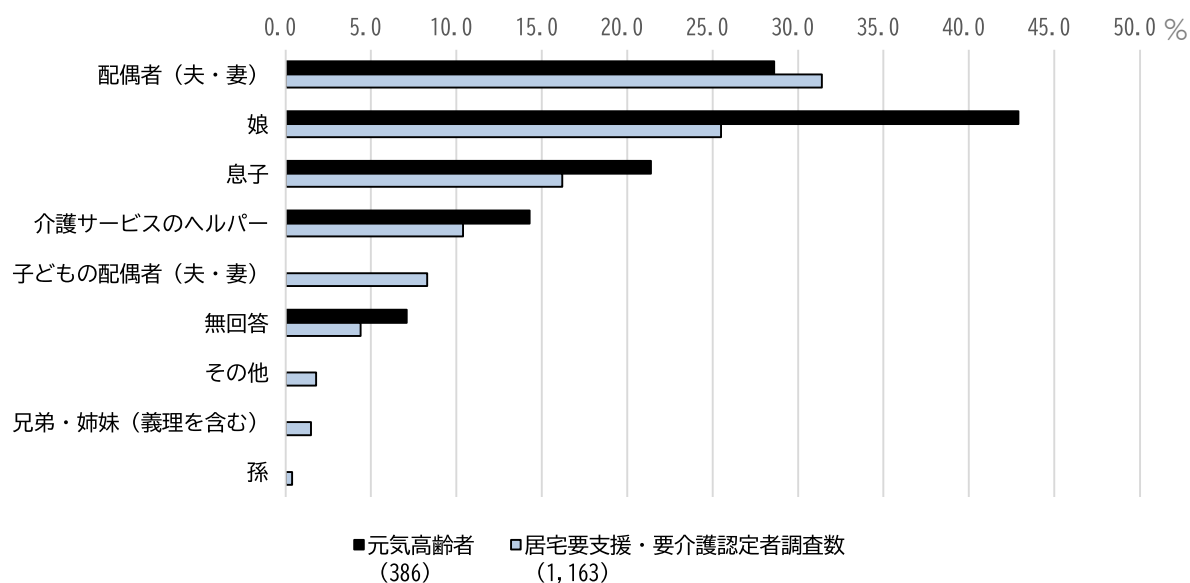




## (2)主な介護・介助者(元気高齢者のみ複数回答可)

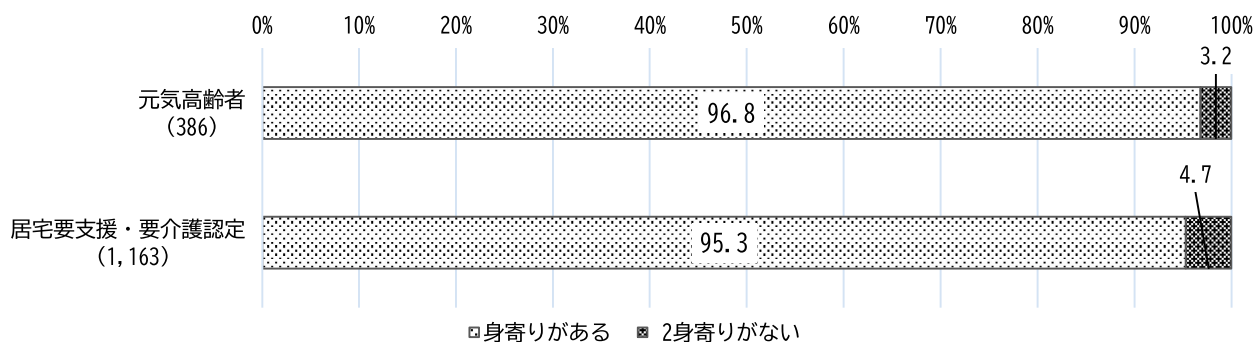
○元気高齢者では「娘」が最も多くなっている。

○居宅要支援・要介護認定者では「配偶者（夫・妻）」が多く、次いで「娘」となっている。



## 3 身寄りの有無（独自調査）

元気高齢者と居宅要支援・要介護認定者とともに「身寄りがある」が95%を超えている。

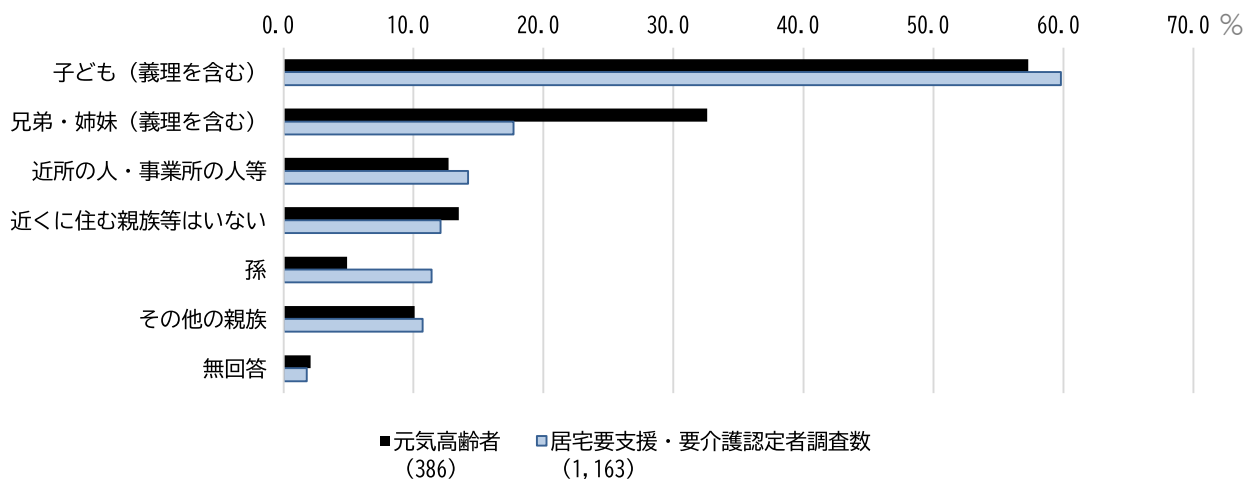


#### 4 急病の時などで手助けが必要な時に30分以内で駆けつけてくれる親族の有無

○元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等ともに「子ども（義理を含む）」が5割以上で最も多く、その他の項目と比較して突出している。

○一方、「近くに住む親族等はいない」はともに約1割前半となっている。

（複数回答可）

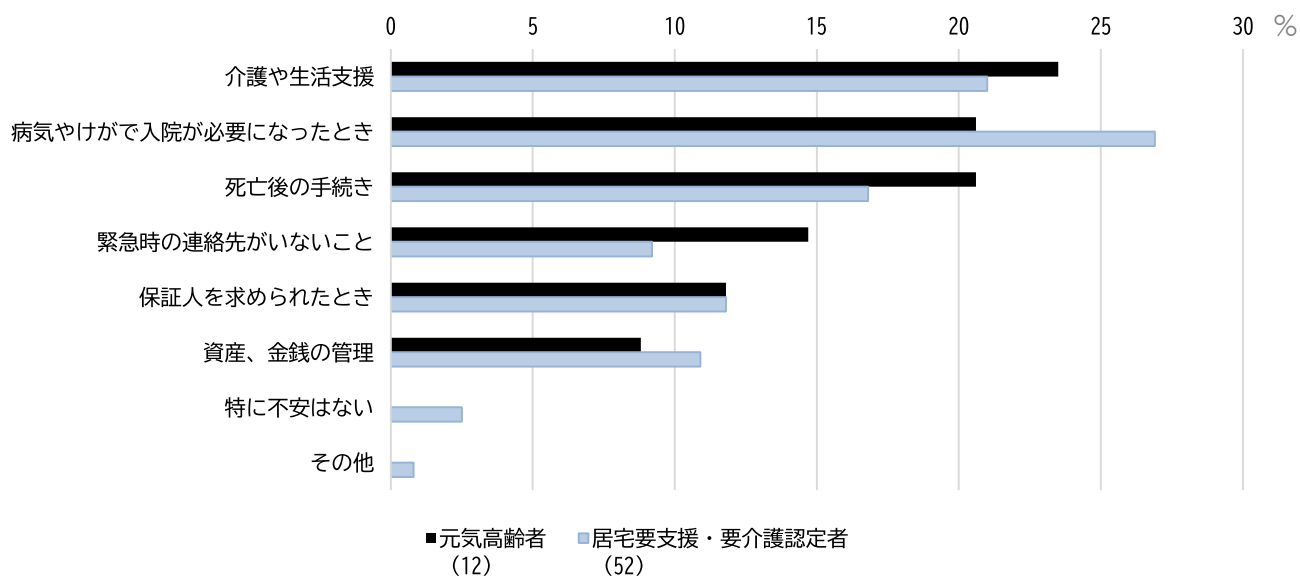


#### 5 「身寄りがない」場合に感じる不安（独自調査）

○元気高齢者では「介護や生活支援」が2割以上で最も多くなっている。

○居宅要支援・要介護認定者では「病気やけがで入院が必要になったとき」が最も多くなっている。

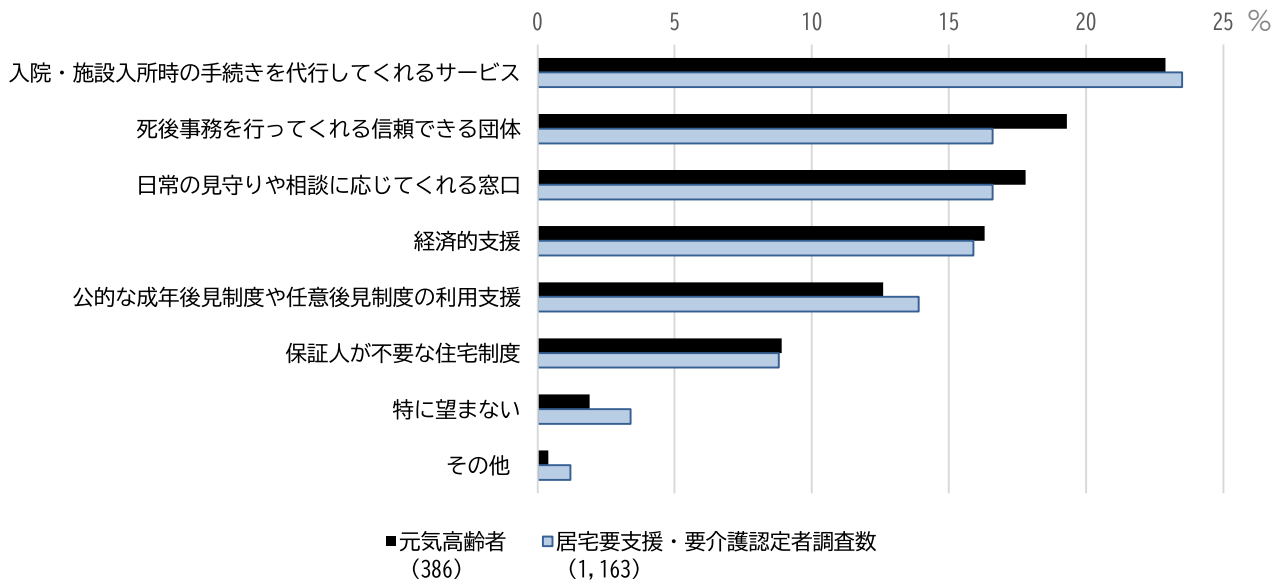
（複数回答可）



## 6 身寄りがいない場合にあると安心だと考える支援（独自調査）

○元気高齢者、居宅要支援・要介護認定者ともに「入院・施設入所時の手続きを代行してくれるサービス」が2割以上で最も多くなっている。

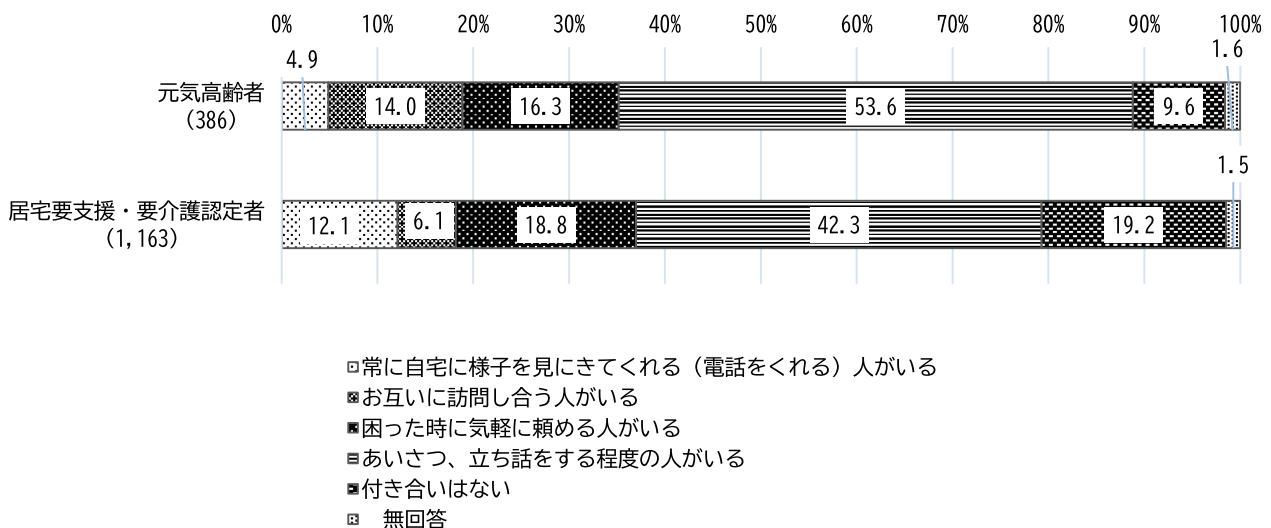
（複数回答可）



## 7 近所の方との付き合いの程度

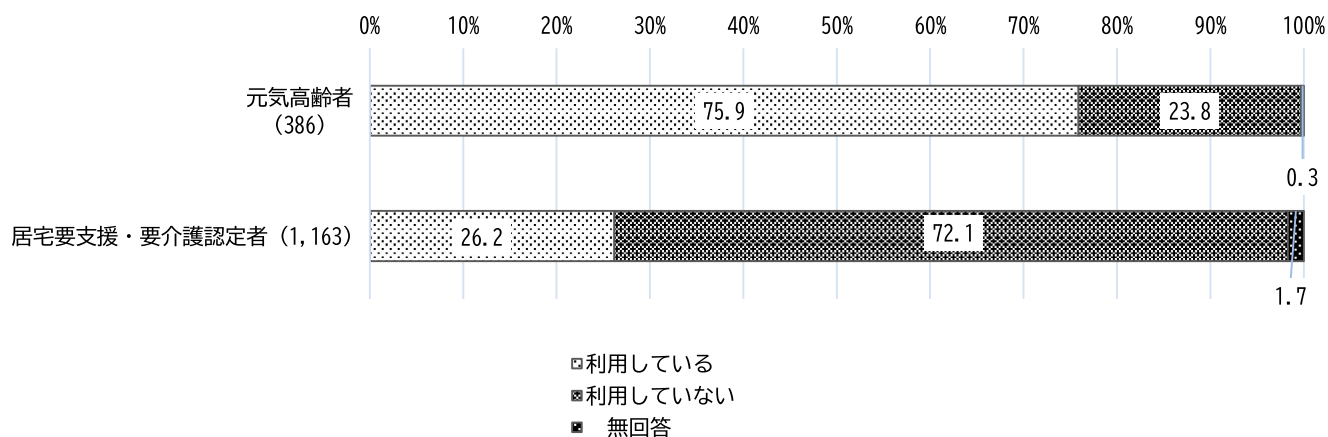
○元気高齢者、居宅要支援・要介護認定者ともに「あいさつ、立ち話をする程度の人がいる」が4割以上で最も多くなっている。

○居宅要介護・要支援認定者では「付き合いはない」が2割弱となっている。



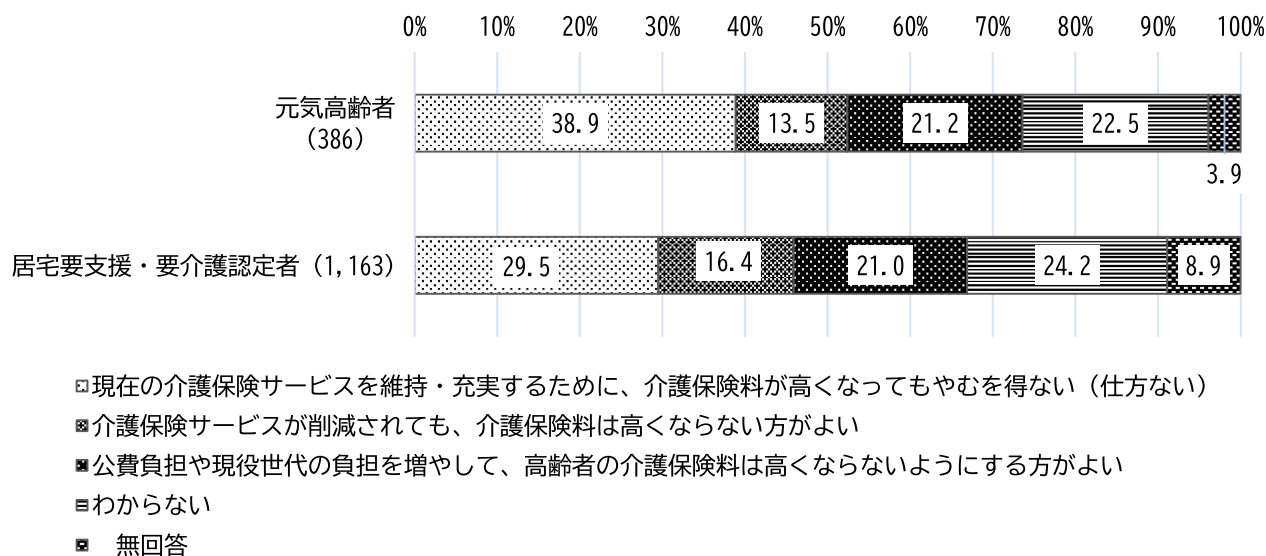
## 8 スマートフォンの使用状況

元気高齢者ではスマートフォンの利用が7割以上となっている。



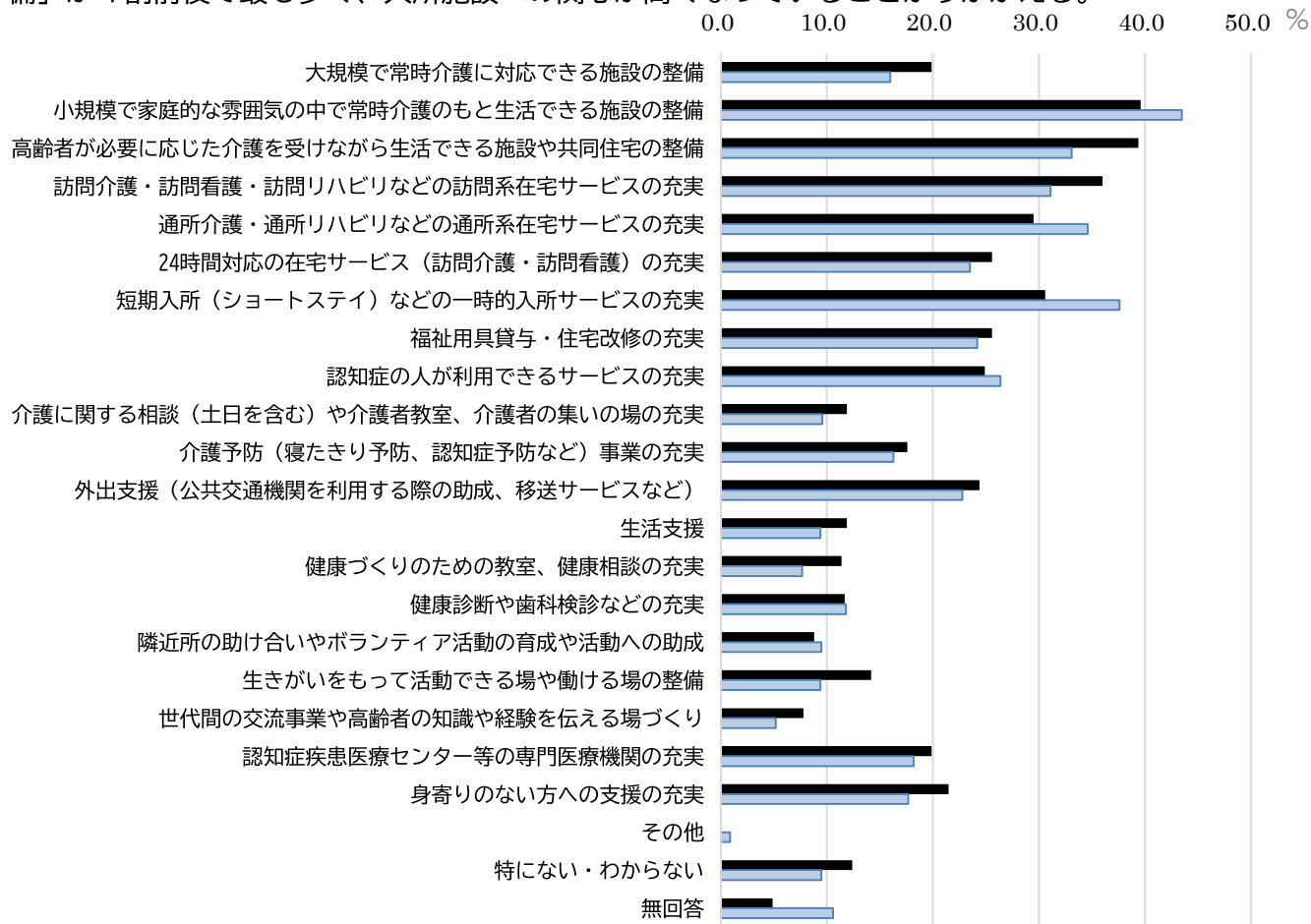
## 9 介護保険サービスと保険料に関する考え方

元気高齢者では居宅要介護・要支援認定者ともに「介護保険料が高くなってもやむを得ない」が最も多くなっている。



## 10 今後、介護や高齢者に必要な施策（複数回答可）

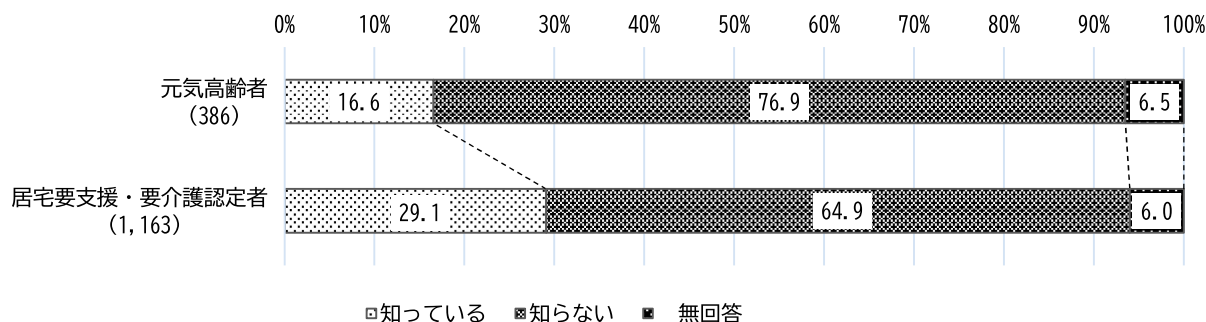
元気高齢者、居宅要介護・要支援認定者等ともに「小規模で常時介護のもと生活できる施設の整備」が4割前後で最も多く、入所施設への関心が高くなっていることがうかがえる。



■元気高齢者（386） ■居宅要支援・要介護認定者調査数（1,163）

## 11 認知症に関する相談窓口の認知状況

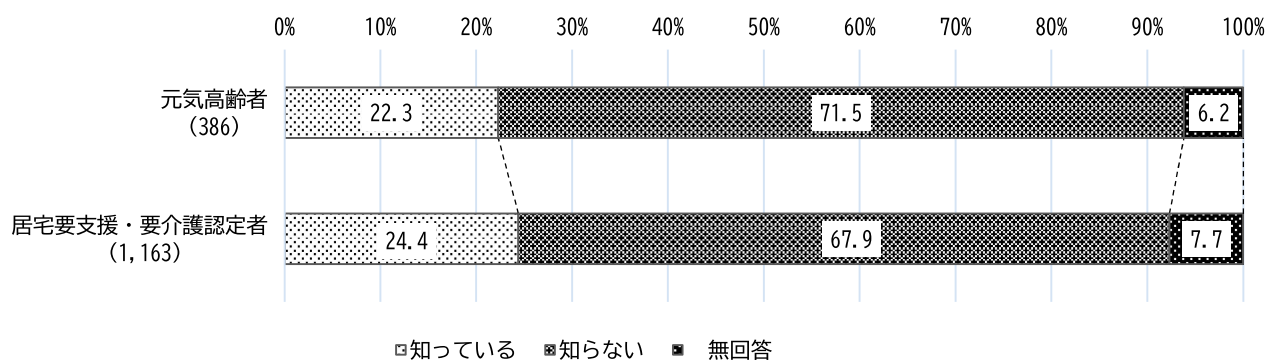
元気高齢者、居宅要支援・要介護認定者ともに「いいえ」が最も多く6割以上となっている。



□知っている ■知らない ■無回答

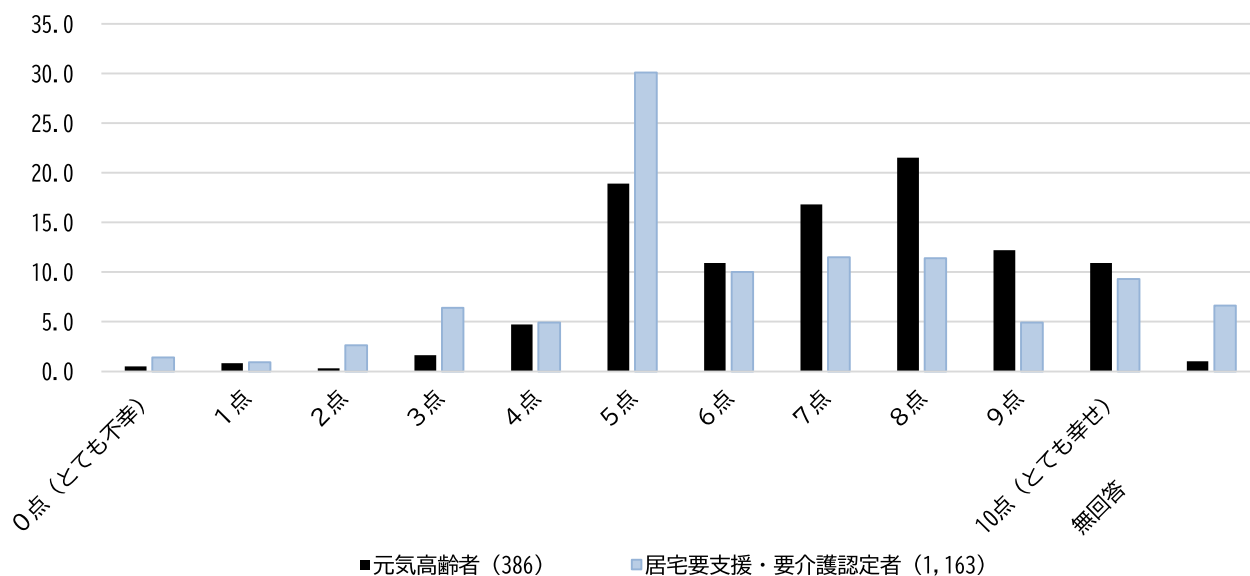
## 12 国が示す「新しい認知症観」の認知状況

元気高齢者、居宅要支援・要介護認定者ともに「いいえ」が最も多く6割以上となっている。



## 13 幸福度

元気高齢者では「8点」が2割以上で最も多く、平均点は7.00点となっており、居宅要支援・要介護認定者では「5点」が約3割で最も多く、平均点は6.04点となっている。

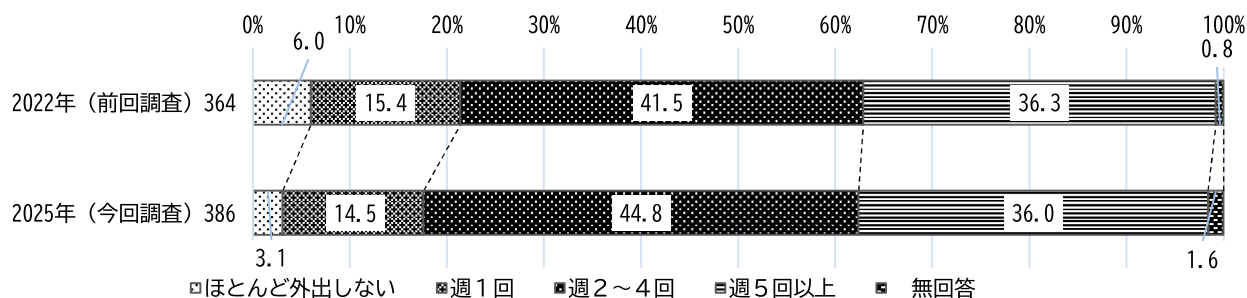


## ② 元気高齢者等実態調査結果

【体を動かすことについて】

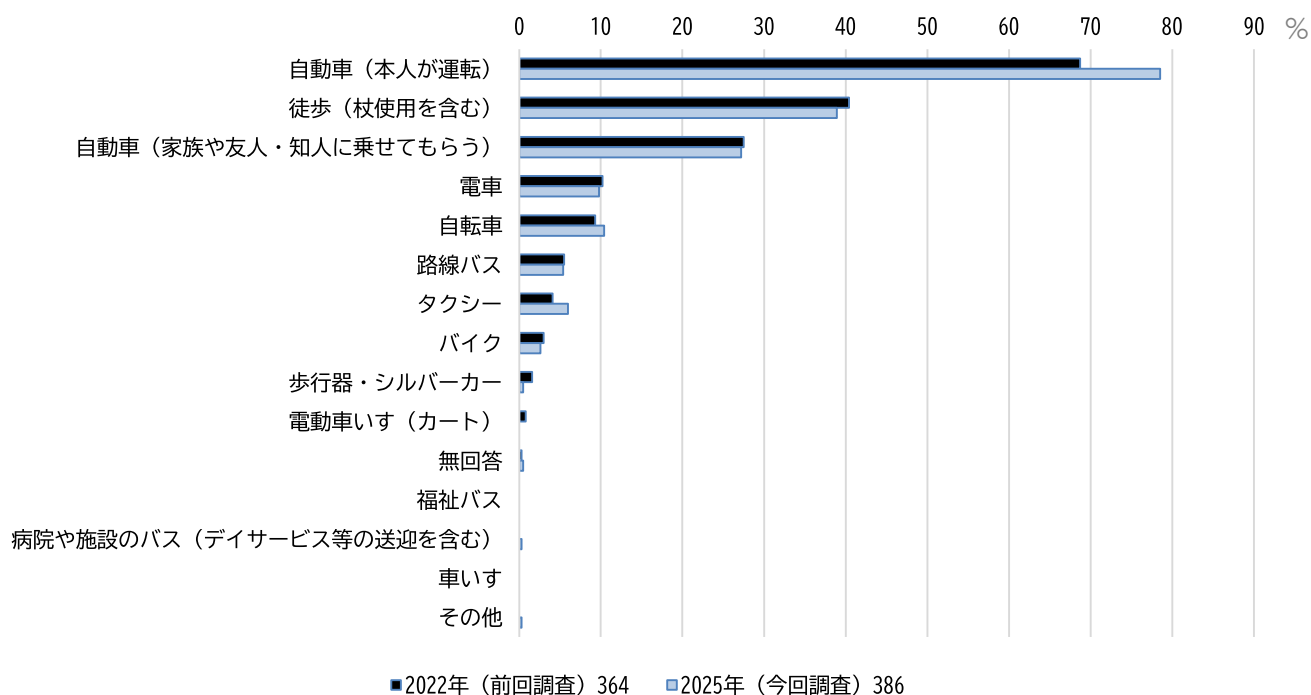
### 14 週に1回以上は外出しているか

「外出する」(『週1回』『週2～4回』『週5日以上』)が9割以上となっている。



### 15 外出する際の移動手段

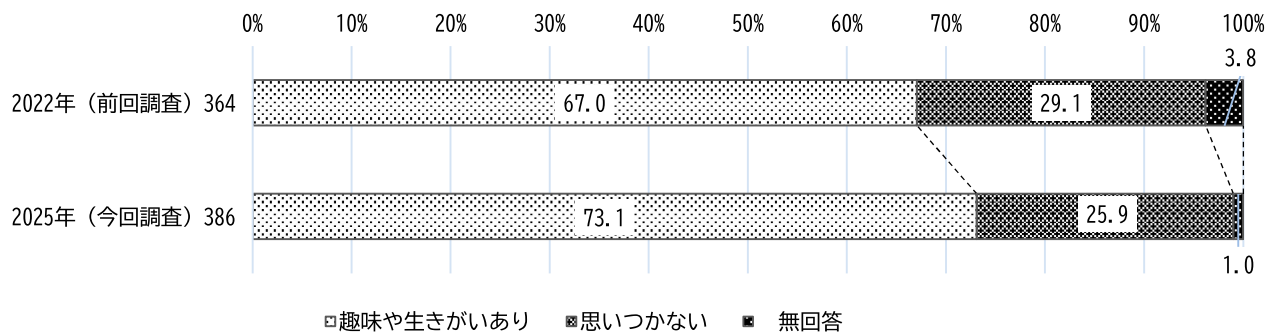
「自動車(本人が運転)」がもっとも多く8割弱となっている。



## 【毎日の生活について】

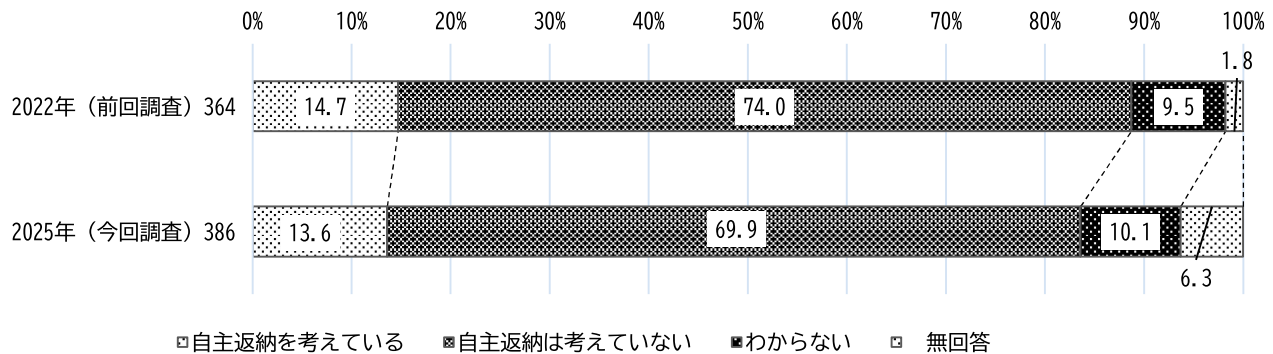
### 16 趣味や生きがいはあるか

「趣味や生きがいあり」が最も多く、7割以上となっている。



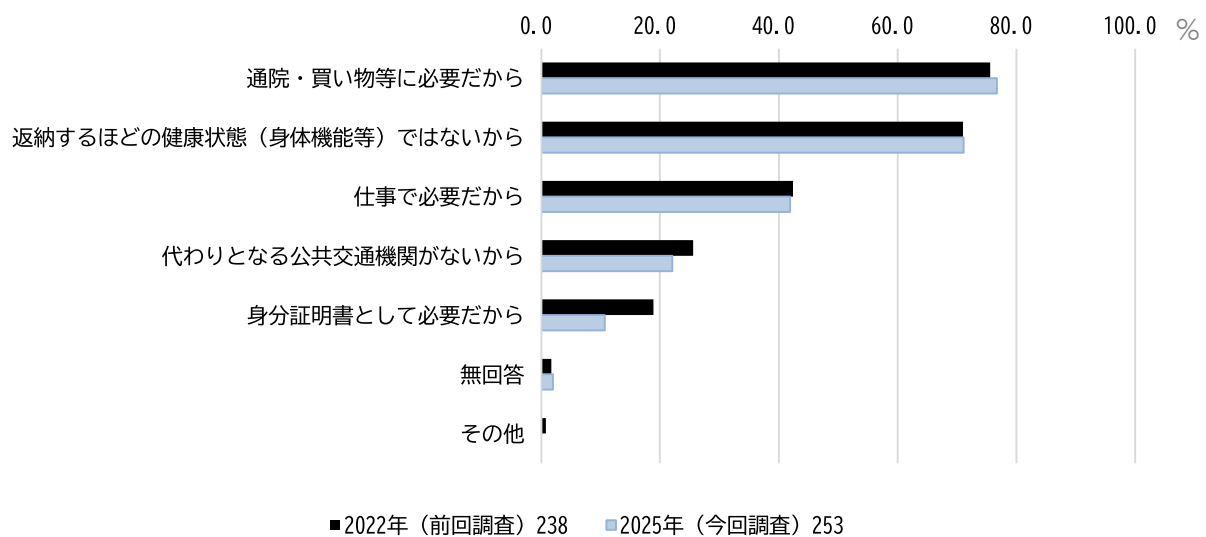
### 17 運転免許証の自主返納を考えているか

「自主返納は考えていない」が最も多く、7割弱となっている。



### 18 返納を考えていない理由

「自主返納は考えていない」理由としては「通院・買い物等に必要だから」が最も多い。





## 19 自動車を自分で運転ができなくなった場合の移動手段

≪日常生活圏域別≫

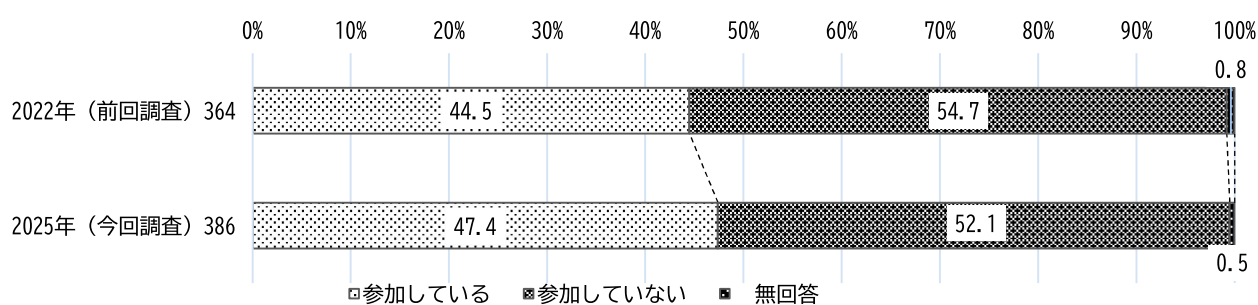
(複数回答可) 単位=% (各選択肢を選んだ回答者数 ÷ 地域ごとの全回答者数 × 100)

|            | 電車   | 路線バス | 福祉バス | タクシー | 家族・親族による送迎 | 友人による送迎 | その他  | 移動手段がない、わからない | 無回答  |
|------------|------|------|------|------|------------|---------|------|---------------|------|
| 中央 (n=38)  | 44.7 | 31.6 | 2.6  | 42.1 | 55.3       | 13.2    | 0.0  | 13.2          | 0.0  |
| 南部 (n=44)  | 38.6 | 43.2 | 6.8  | 65.9 | 63.6       | 6.8     | 2.3  | 2.3           | 4.5  |
| 日滝 (n=42)  | 33.3 | 54.8 | 4.8  | 45.2 | 45.2       | 4.8     | 2.4  | 7.1           | 7.1  |
| 豊洲 (n=17)  | 35.3 | 41.2 | 5.9  | 35.3 | 52.9       | 0.0     | 11.8 | 0.0           | 5.9  |
| 旭ヶ丘 (n=22) | 68.2 | 54.5 | 22.7 | 54.5 | 31.8       | 4.5     | 4.5  | 4.5           | 0.0  |
| 日野 (n=37)  | 62.2 | 32.4 | 5.4  | 43.2 | 54.1       | 8.1     | 5.4  | 2.7           | 2.7  |
| 井上 (n=25)  | 28.0 | 36.0 | 12.0 | 32.0 | 72.0       | 4.0     | 0.0  | 8.0           | 8.0  |
| 高甫 (n=29)  | 13.8 | 51.7 | 10.3 | 51.7 | 51.7       | 10.3    | 3.4  | 6.9           | 6.9  |
| 仁礼 (n=42)  | 16.7 | 61.9 | 7.1  | 38.1 | 50.0       | 2.4     | 0.0  | 2.4           | 11.9 |
| 豊丘 (n=20)  | 10.0 | 55.0 | 5.0  | 60.0 | 50.0       | 10.0    | 0.0  | 0.0           | 15.0 |

【地域での活動について】

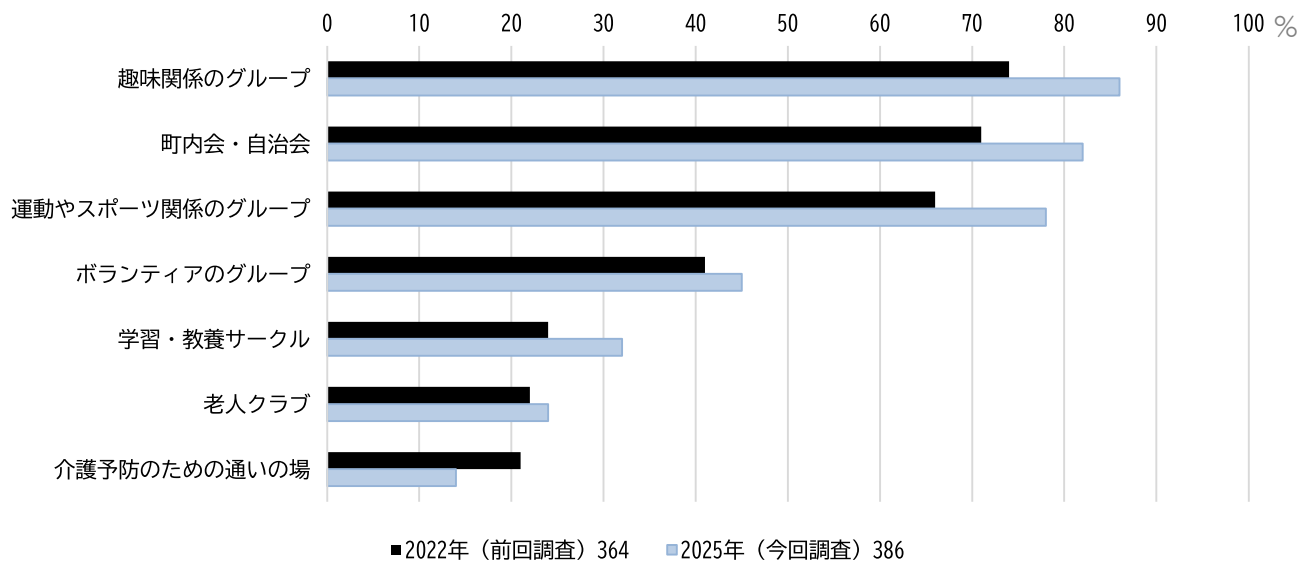
## 20 何らかの地域の会やグループに参加しているか

「参加していない」が半数以上となっているが、前回調査と比べ「参加している」が増加している。



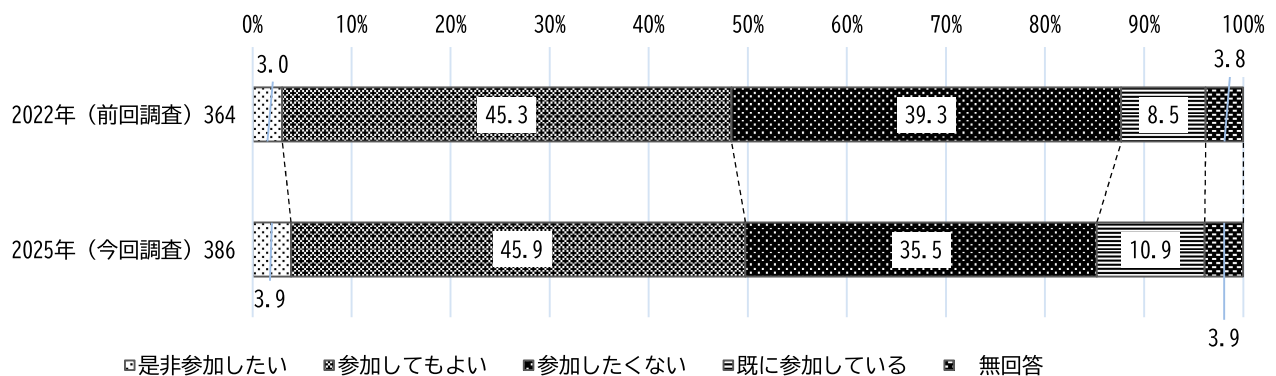
## 21 参加している活動グループ(週4回～年数回以上) ※複数回答あり

「趣味関係のグループ」「町内会・自治会」が多く8割以上となっている。「介護予防のための通いの場」は前回調査から下回った。



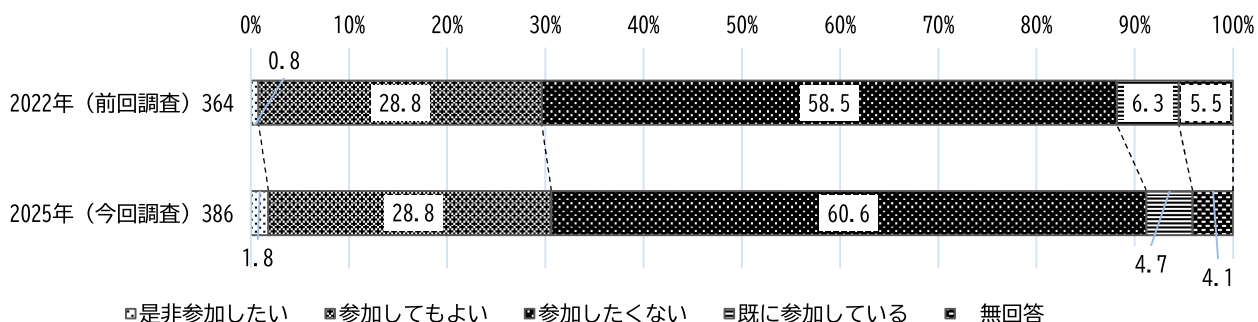
## 22 いきいきした地域づくりの活動に参加者としての参加意向

「参加してもよい」が最も多く4割以上となっている。



## 23 いきいきした地域づくりの活動に企画・運営(お世話役)としての参加意向

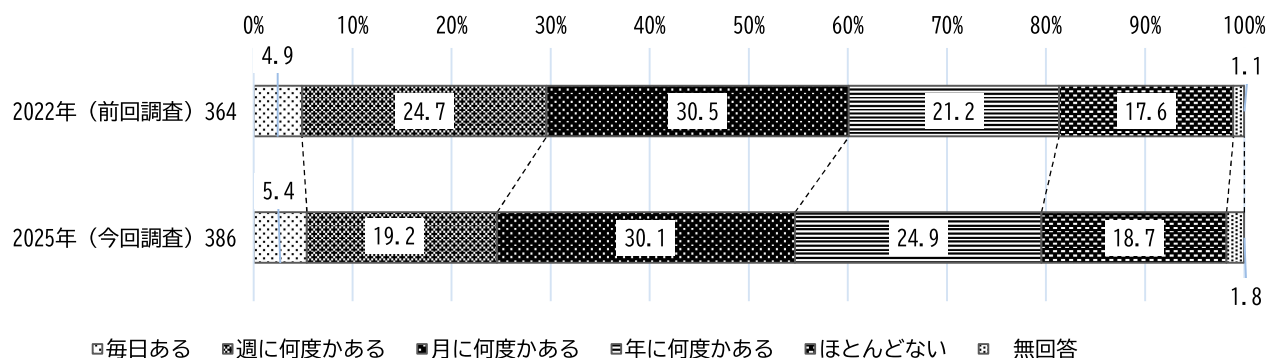
「参加したくない」が最も多く約6割となっている。



### 【助け合いについて】

## 24 友人・知人と会う頻度

「月に何度かある」が最も多く3割となっている。よく会う友人、知人の関係は「近所・同じ地域の人」が多く、4割以上となっている。

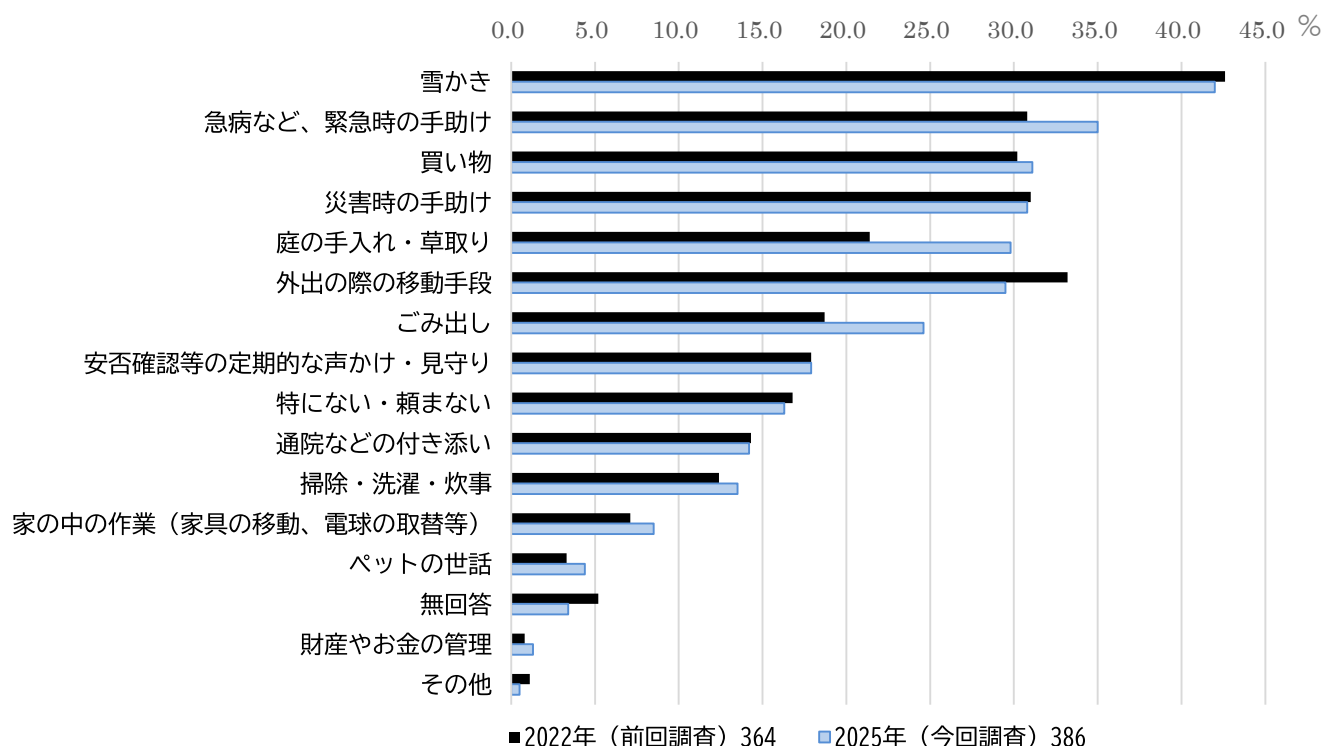


よく会う友人、知人はどんな関係の人？（複数回答）

- ・近所・同じ地域の人 …43.8%
- ・趣味や関心が同じ人 …36.5%
- ・仕事の同僚、元同僚 …28.8%

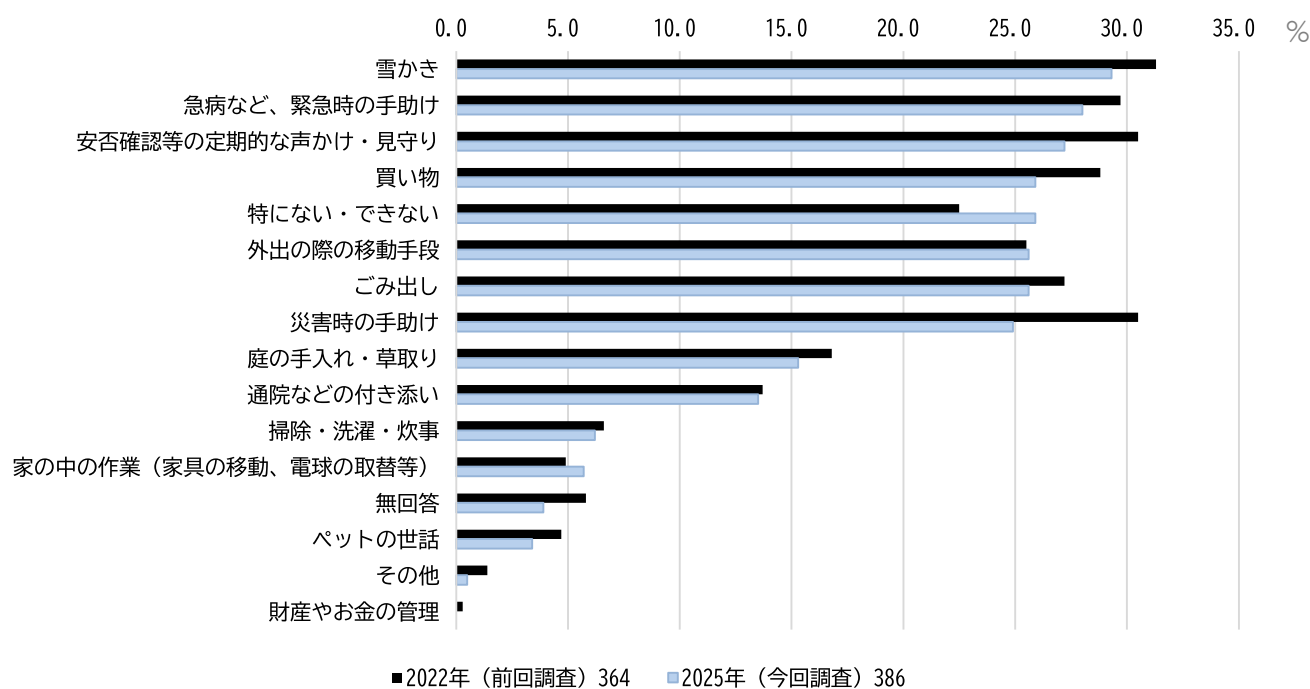
## 25 日常生活上の支援が必要になった時、地域の人にしてほしい支援(複数回答可)

「雪かき」が最も多く4割以上となっている。「急病・緊急時の手助け」が次いで多く、前回調査を上回っている。



## 26 とおり近所で困っている家庭があった場合にできる支援

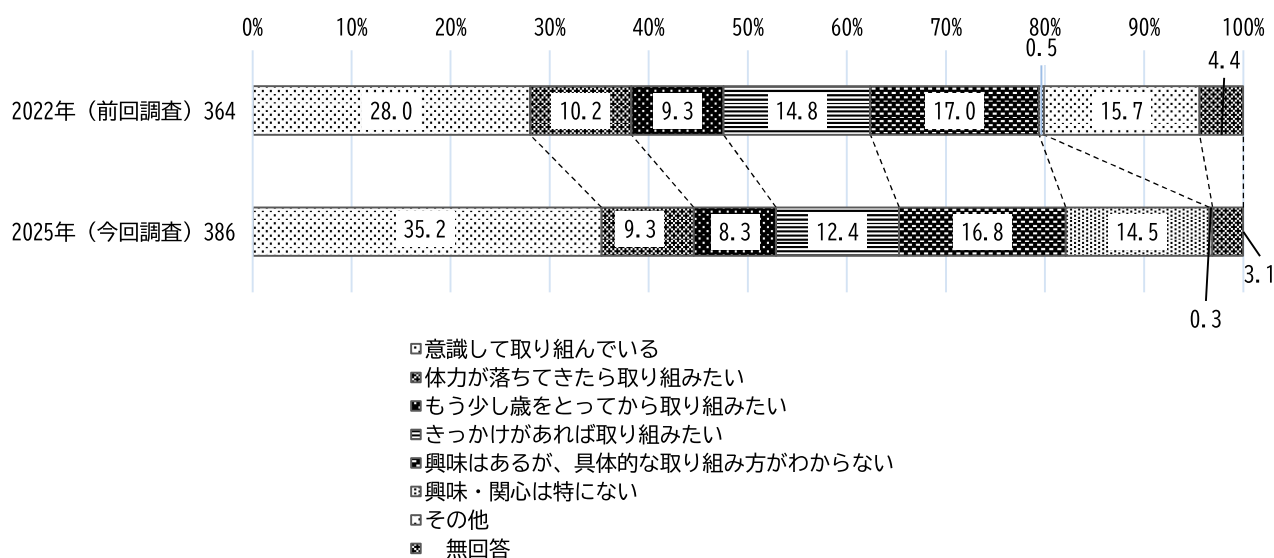
「雪かき」が最も多く3割弱となっている。



## 【介護予防について】

### 27 介護予防の取り組み状況

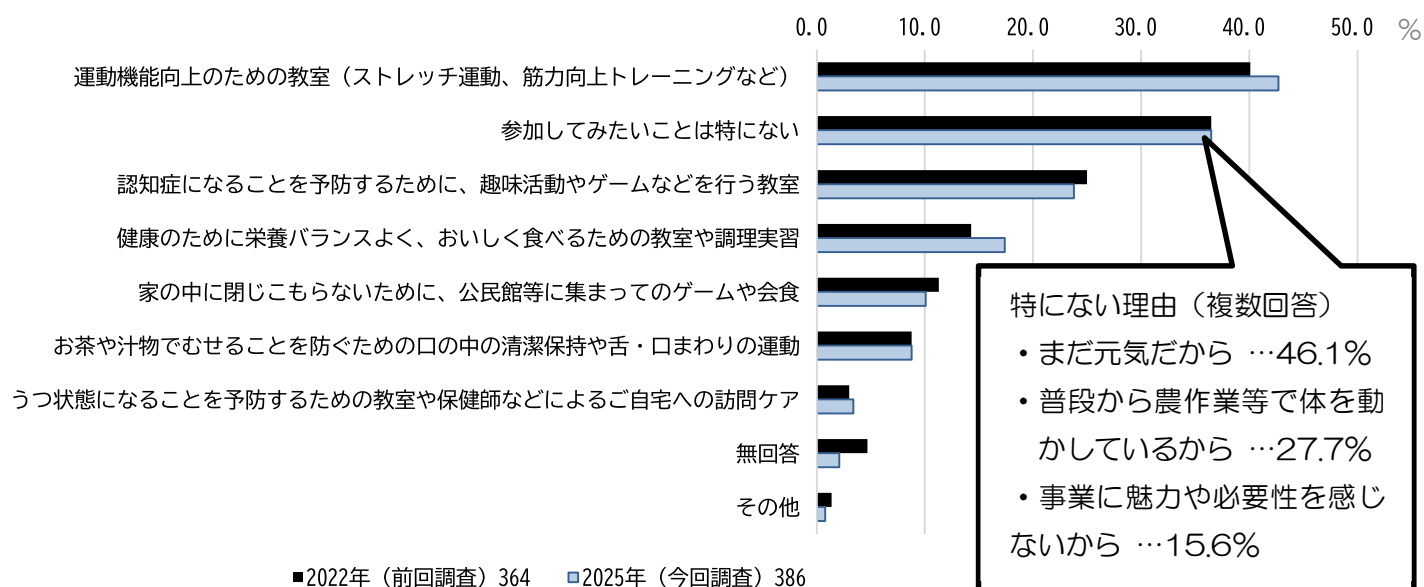
「意識して取り組んでいる」が最も多く3割以上となっており、前回調査を大きく上回っている。



### 28 今後参加してみたい介護予防事業

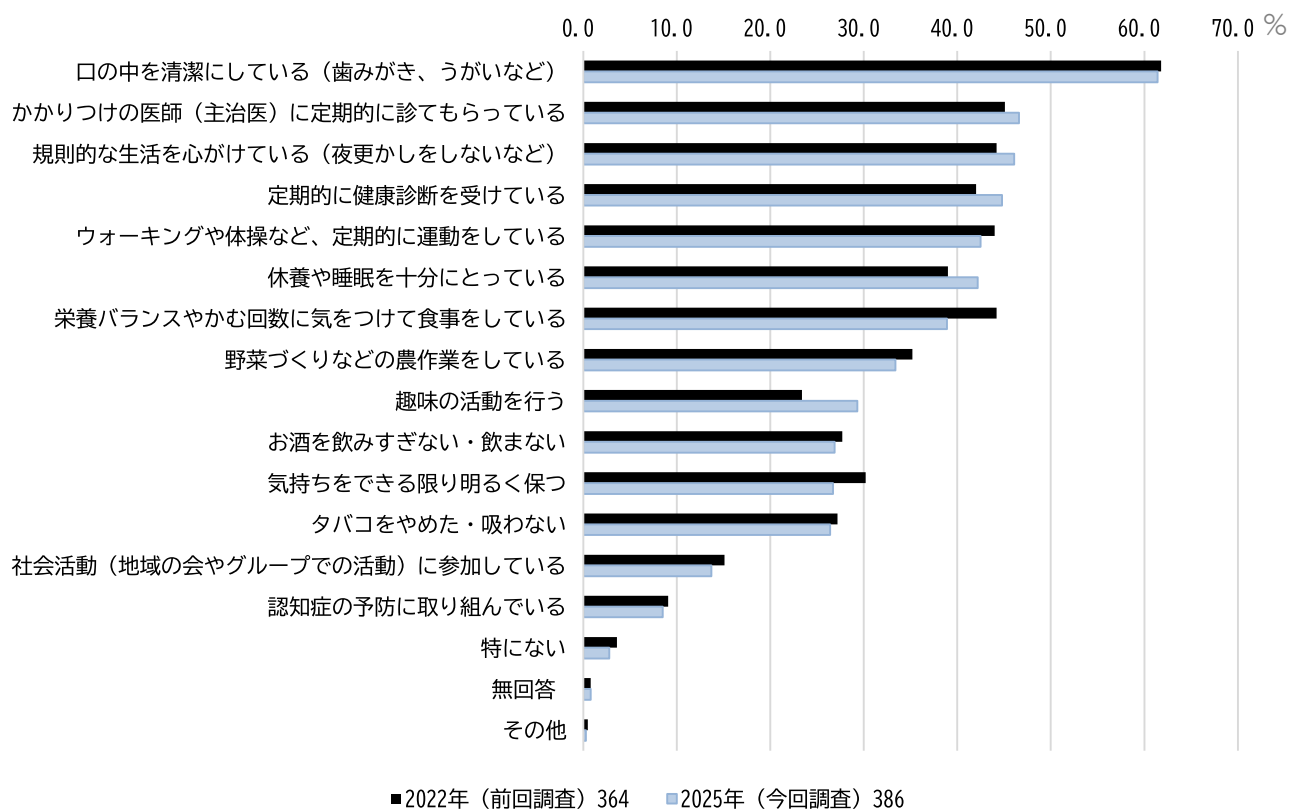
○「運動機能向上のための教室」が最も多く4割以上となっている。

○「特にない」と答えた理由としては「まだ元気だから」が最も多くなっている。



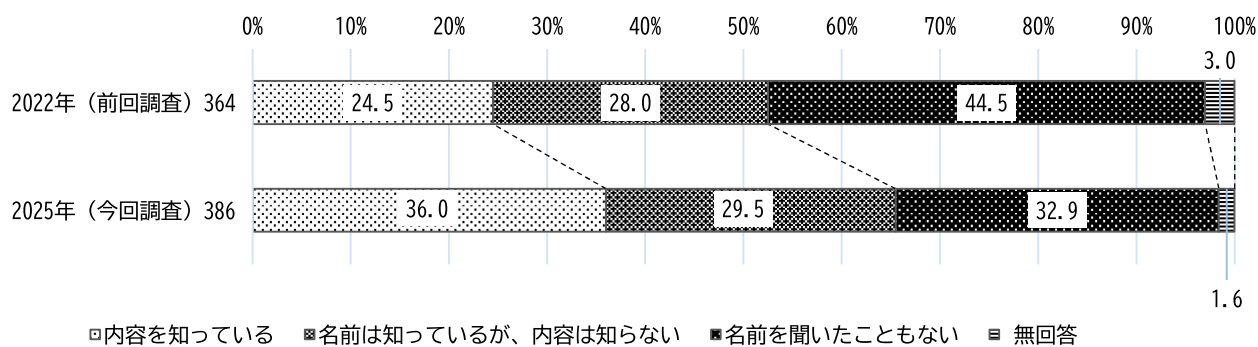
## 29 普段から健康や介護予防のために気をつけていること

○「口の中を清潔にしている」が最も多く6割以上となっている。



## 30 「フレイル」という言葉の認知状況

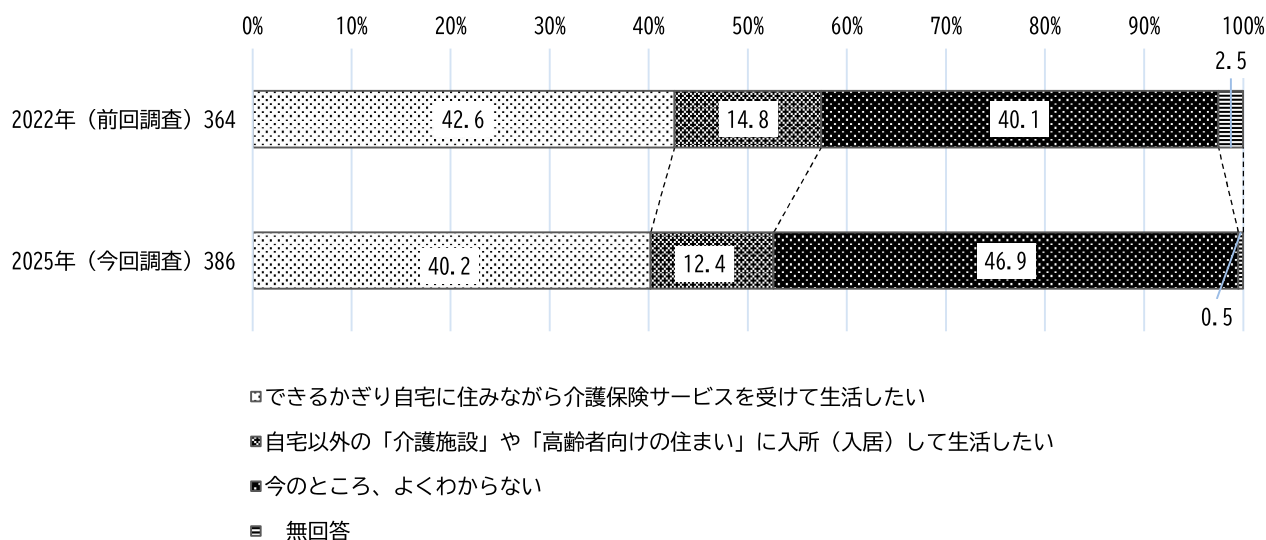
「知っている」が最も多く3割以上となっており、前回調査を上回っている。



## 【希望する介護サービスについて】

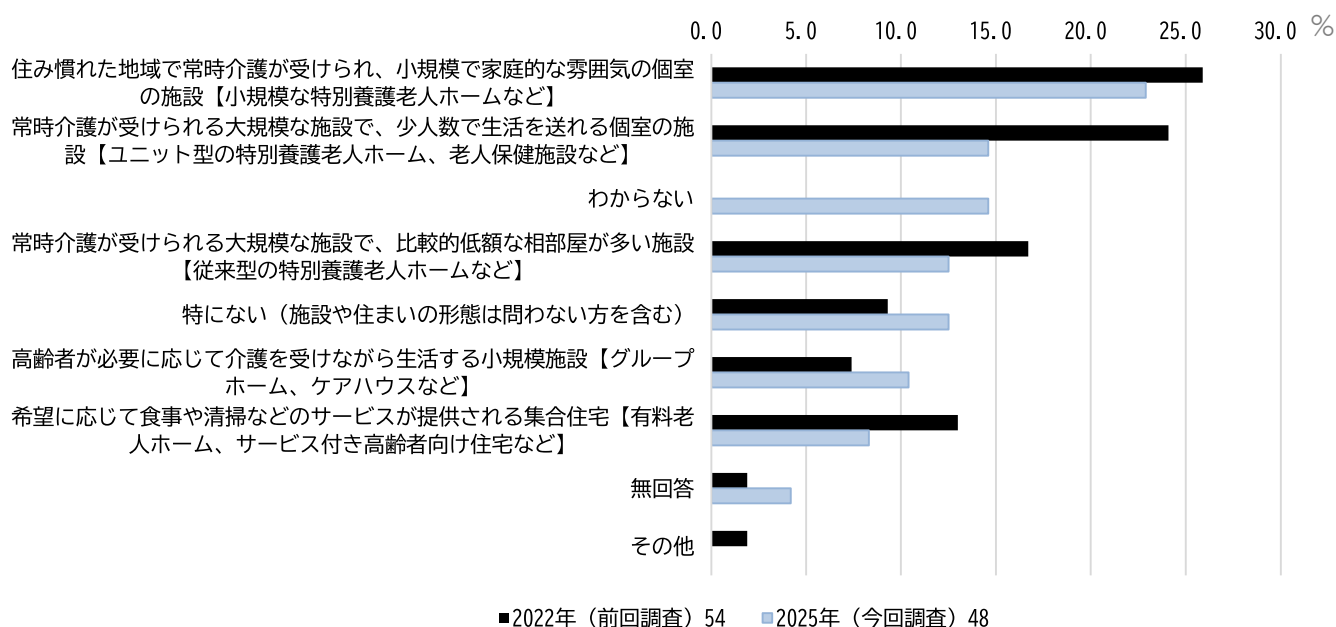
### 31 介護が必要となった場合、介護を受けたい場所

「よくわからない」が最も多く4割以上となっており、次いで「できるかぎり自宅に住みながら介護保険サービスを受けて生活したい」が約4割と多くなっている。



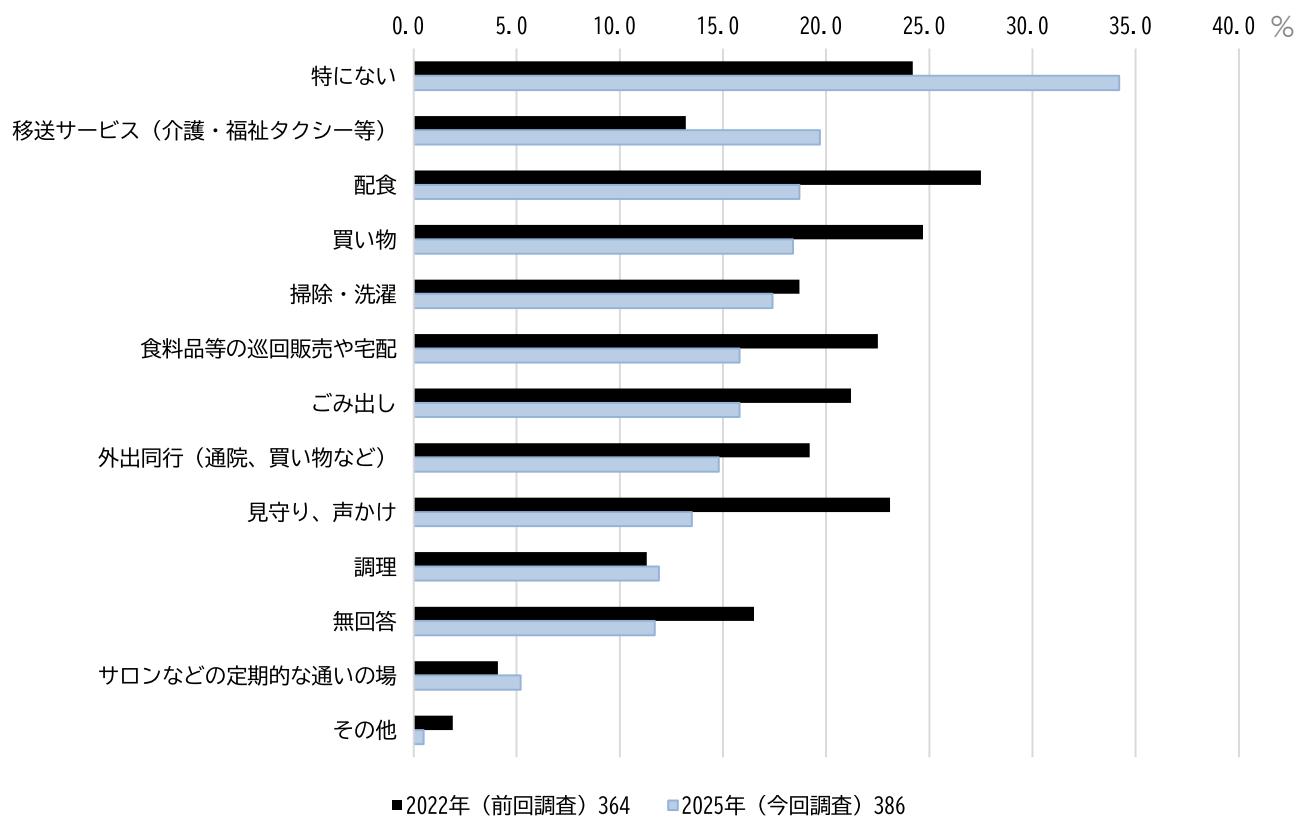
### 32 最も希望する「施設」や「住まい」の形態（29で介護施設等と回答した人）

「住み慣れた地域で介護を受けられる小規模で家庭的な雰囲気の個室の施設」が最も多く2割を超えている。（「わからない」は前回調査では設定なし）



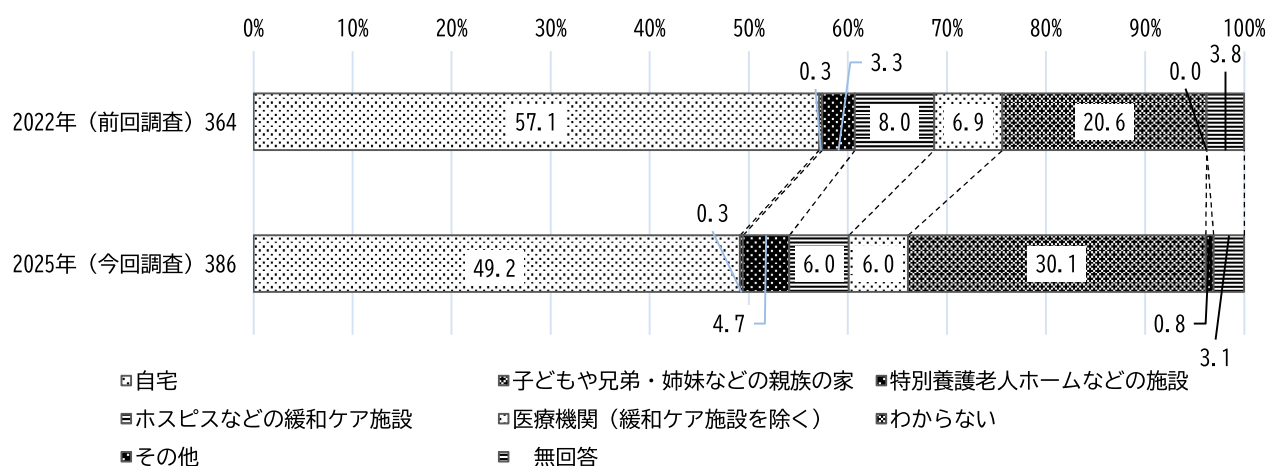
### 33 今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス(複数回答可)

「特にない」が最も多く3割を超えている。次いで「移送サービス」が2割弱と多くなっている。



### 34 人生の最期を迎えたい場所

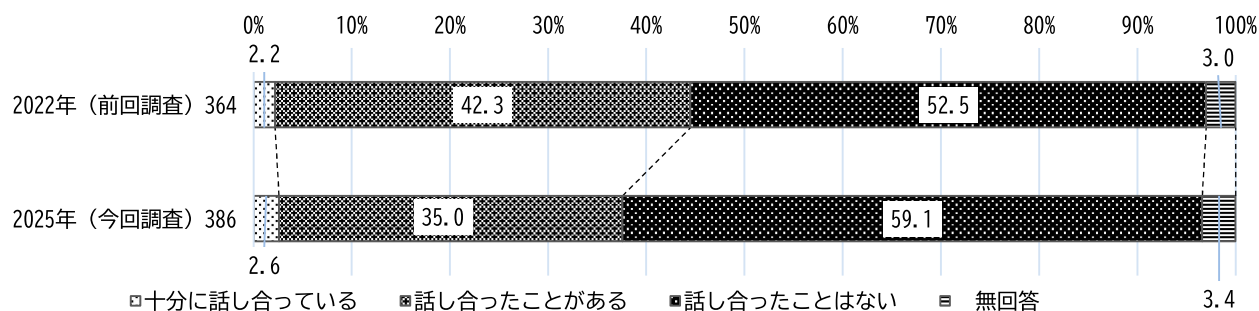
「自宅」が最も多く5割弱となっている。





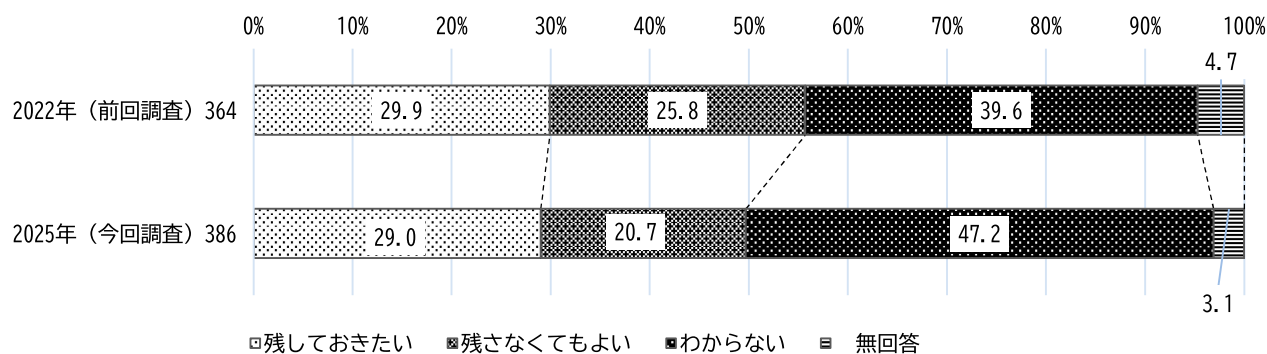
### 35 人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合った経験の有無

「話しあったことはない」が最も多く6割弱となっている。



### 36 自分の意志を書面に残しておきたいか

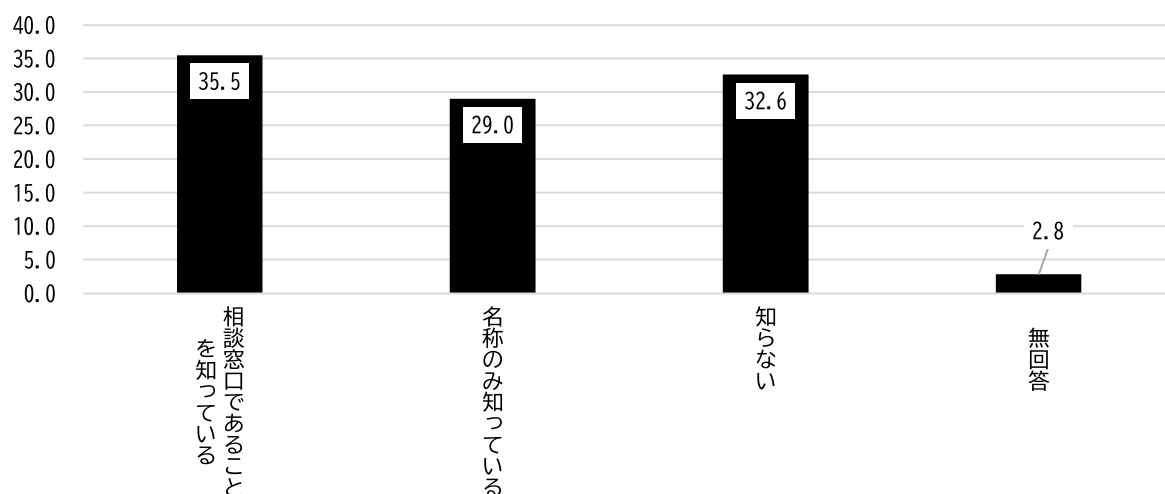
「わからない」が最も多く4割以上となっており、次いで「残しておきたい」が多くなっている。



#### 【地域包括支援センターについて】

### 37 地域包括支援センターの認知状況

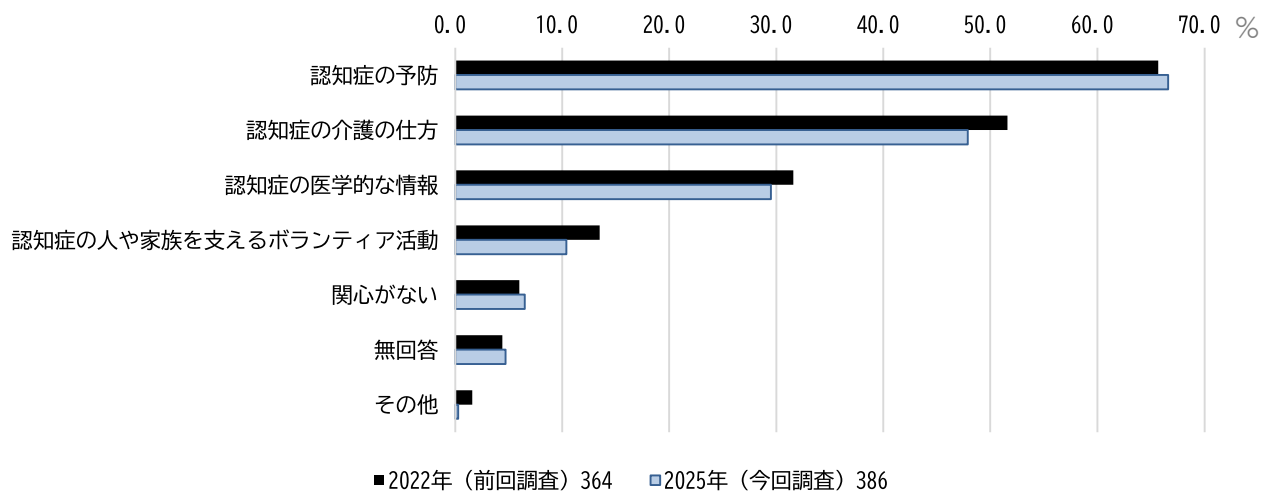
「相談窓口であることを知っている」が最も多くなっている。（前回調査では「よく知っている」「ある程度知っている」が39%だった。）



## 【認知症について】

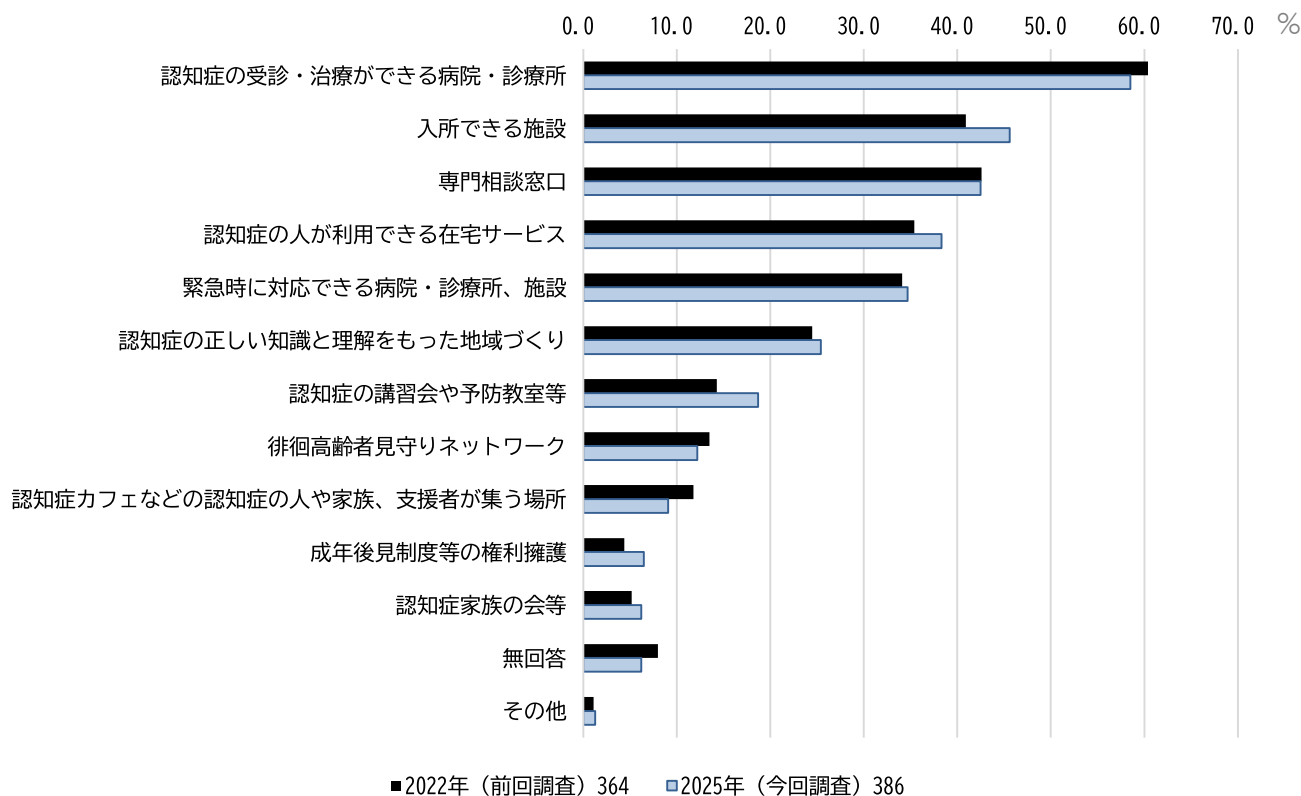
### 38 認知症について関心があること

「認知症の予防」が6割以上で最も多く、次いで「認知症の介護の仕方」、「認知症の医学的な情報」の順となっている。



### 39 認知症になっても安心して暮らすために充実が必要なこと（複数回答可）

「認知症の受診・治療ができる病院・診療所」が最も多く、6割弱となっている。次いで「入所できる施設」「専用相談窓口」の順になっている。

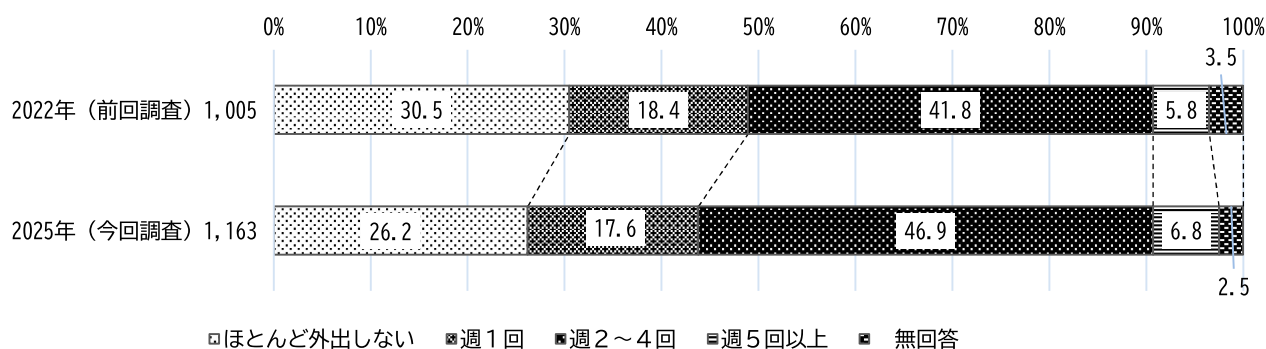


### ③ 居宅要介護・要支援者実態調査結果

【体を動かすことについて】

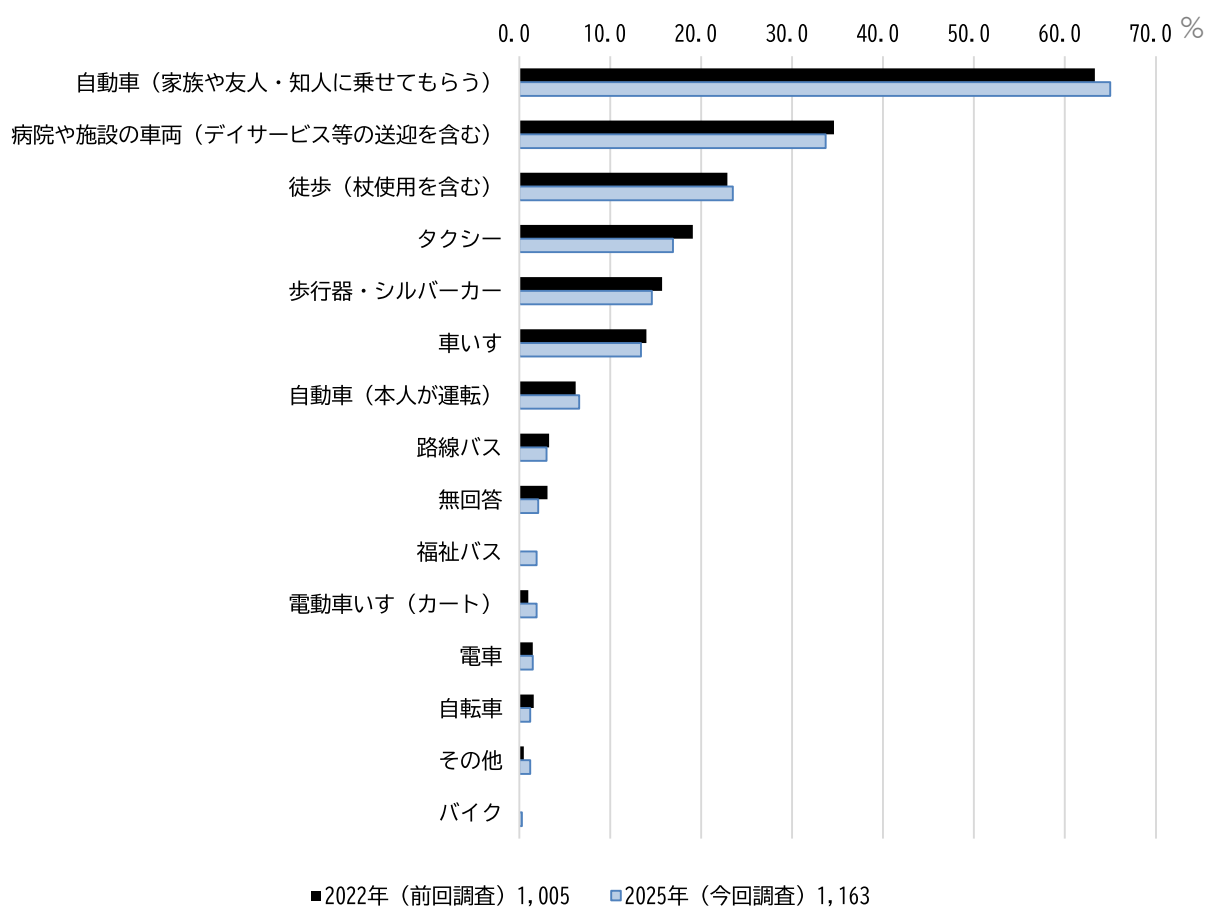
#### 40 週に1回以上は外出しているか

「週2～4回」が最も多く、4割以上となっている。



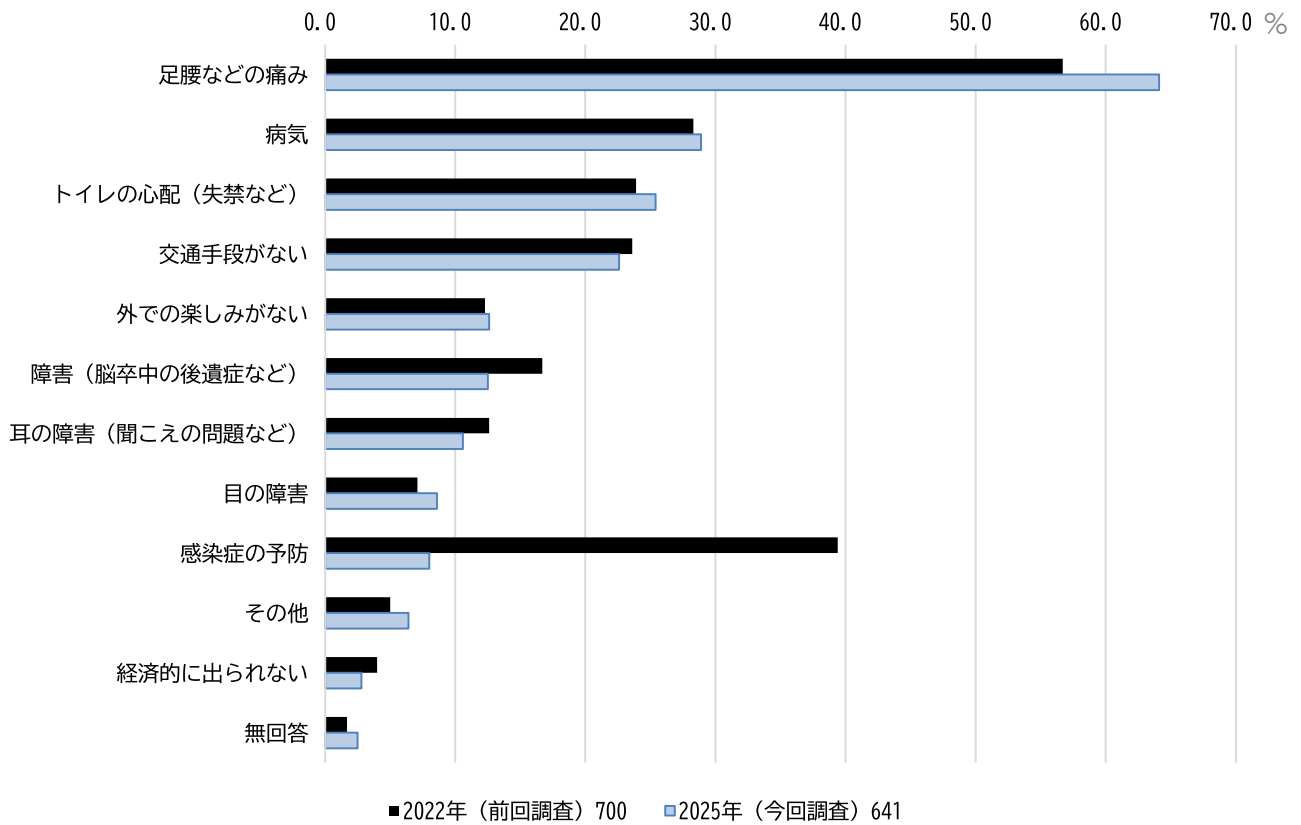
#### 41 外出する際の移動手段

「自動車（家族や友人・知人に乗せてもらう）」が最も多く、6割以上となっている。



## 42 外出を控えている理由

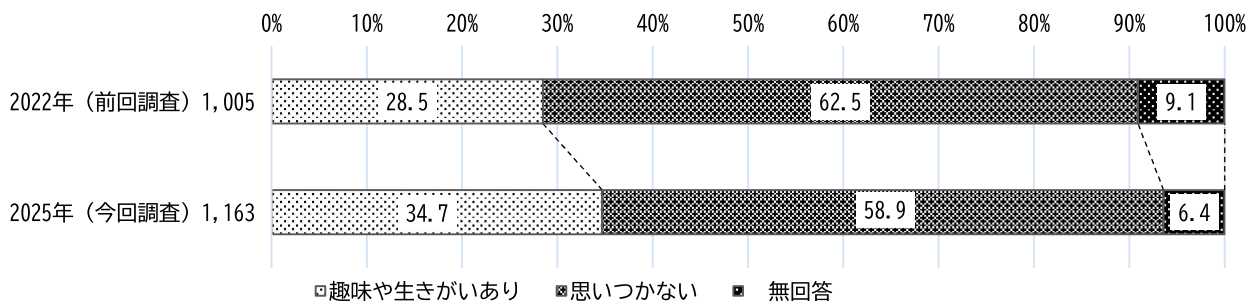
「足腰などの痛み」が最も多く、6割以上となっている。次いで「病気」、「トイレの心配」の順になっており身体的な理由が上位となっている。



### 【毎日の生活について】

## 43 趣味や生きがいはあるか

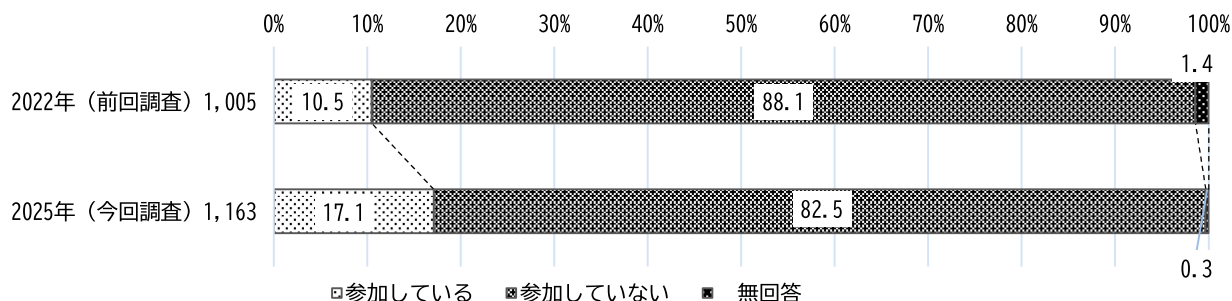
「思いつかない」が最も多く半数以上となっている。



## 【地域での活動について】

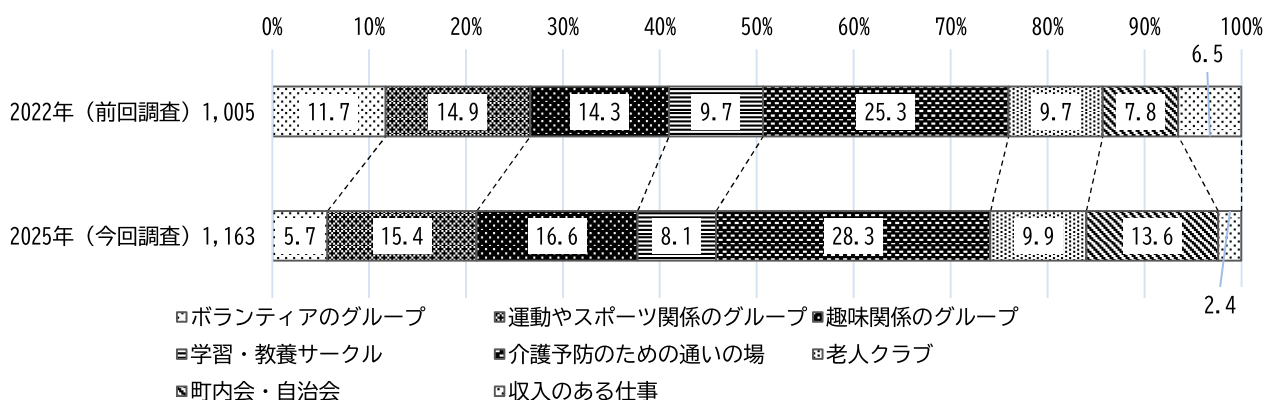
### 44 何らかの地域の会やグループに参加しているか

「参加していない」が最も多く8割以上となっている。



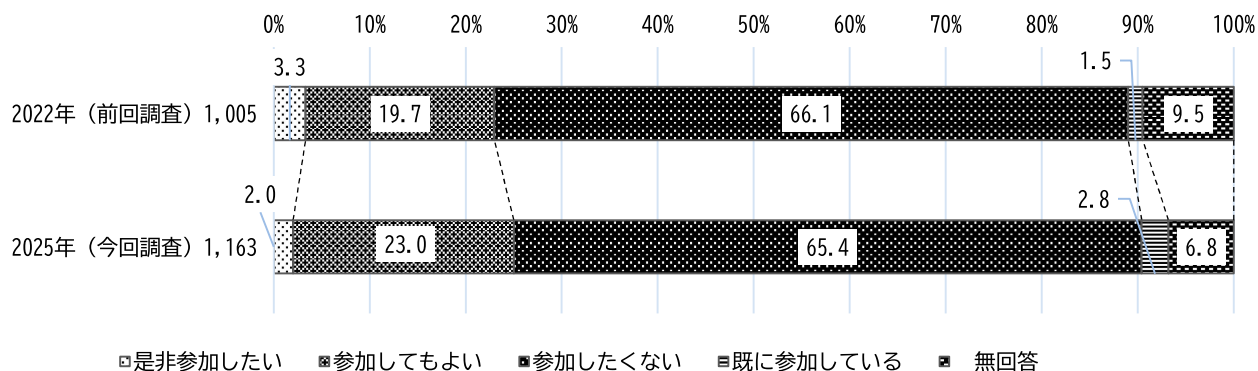
### 45 何らかのグループに参加(週4回～年数回以上・複数回答可)

「介護予防のための通いの場」が最も多く、2割以上となっている。



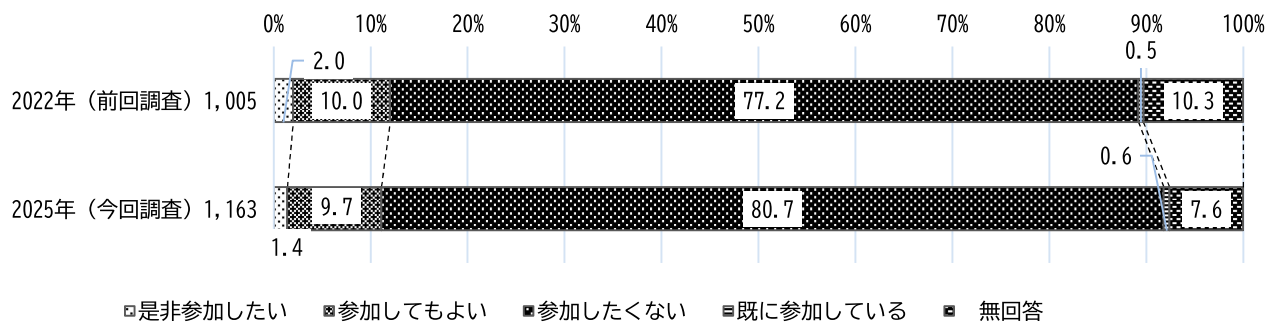
### 46 いきいきした地域づくりの活動に参加者としての参加意向

「参加したくない」が最も多く6割以上となっている。



#### 47 いきいきした地域づくりの活動に企画・運営(お世話役)としての参加意向

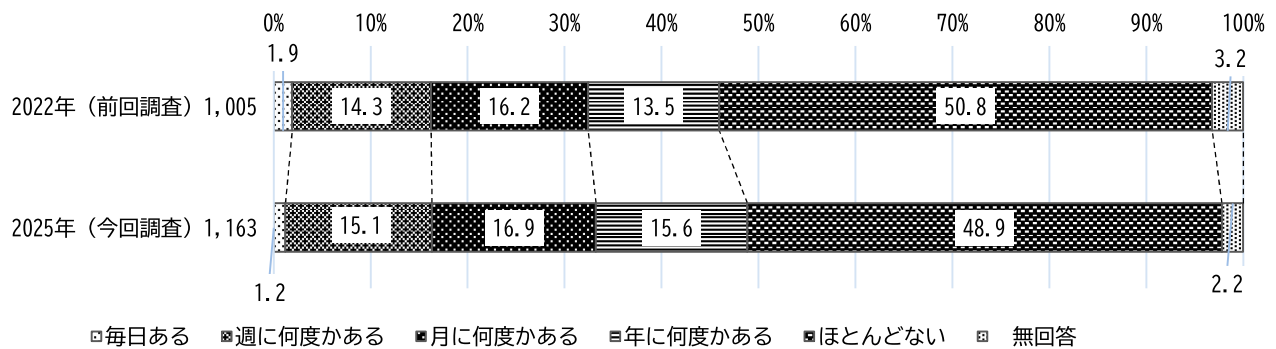
「参加したくない」が最も多く約8割となっている。



#### 【助け合いについて】

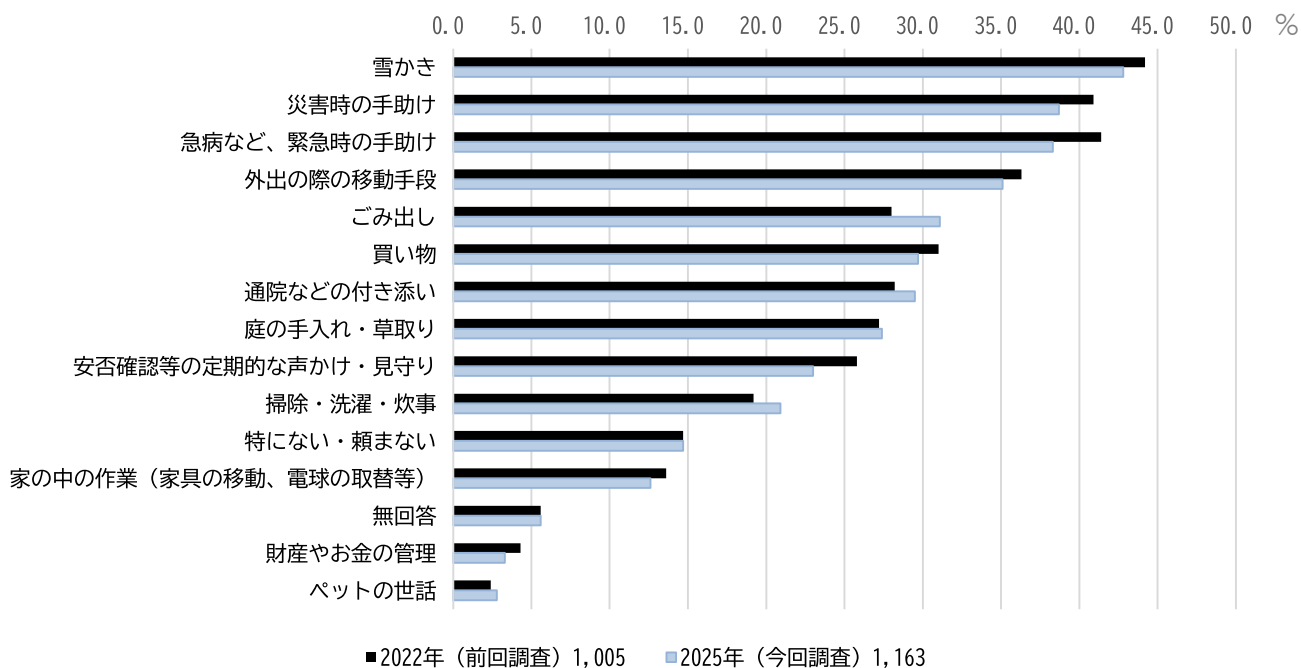
#### 48 友人・知人と会う頻度

「ほとんどない」が最も多く5割弱となっている。



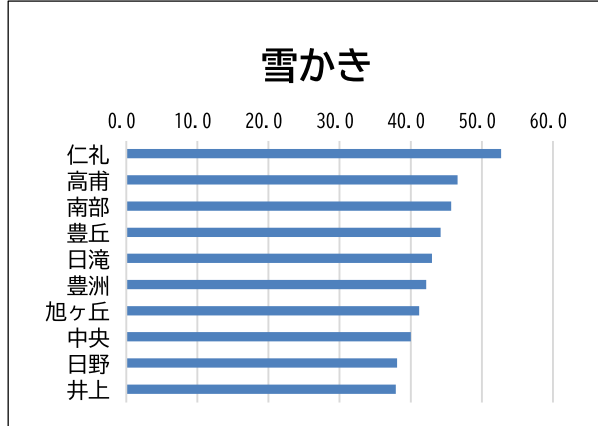
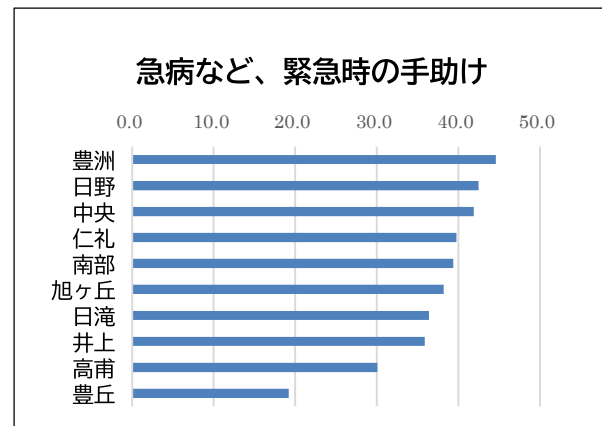
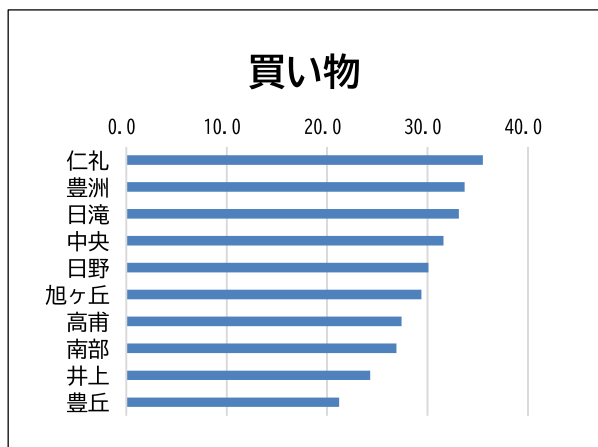
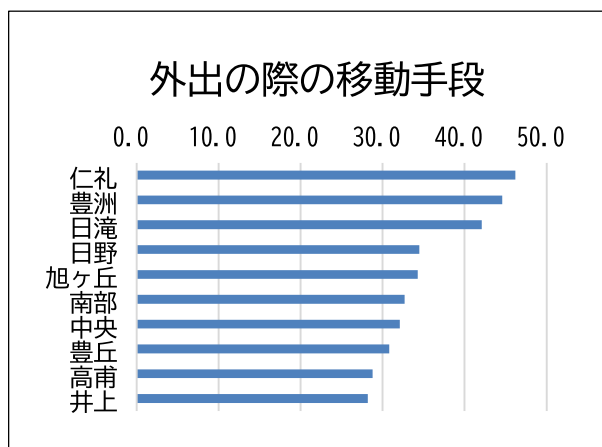
## 49 日常生活上の支援が必要になった時、地域の人にしてほしい支援

「雪かき」が最も多く4割以上となっている。次いで「災害時の手助け」「急病など、緊急時の手助け」の順となっている。



### ＜日常生活圏域別＞ 抜粋

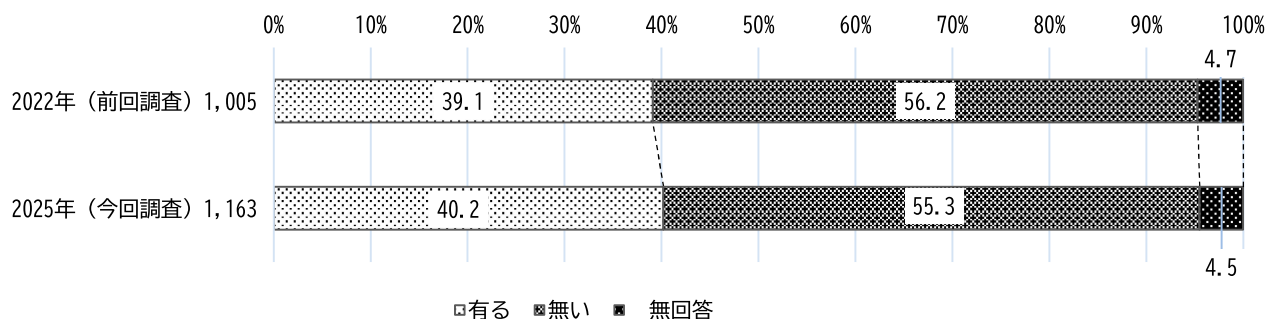
（複数回答可）単位＝％（各選択肢を選んだ回答者数 ÷ 地域ごとの全回答者数 × 100）



## 【認知症について】

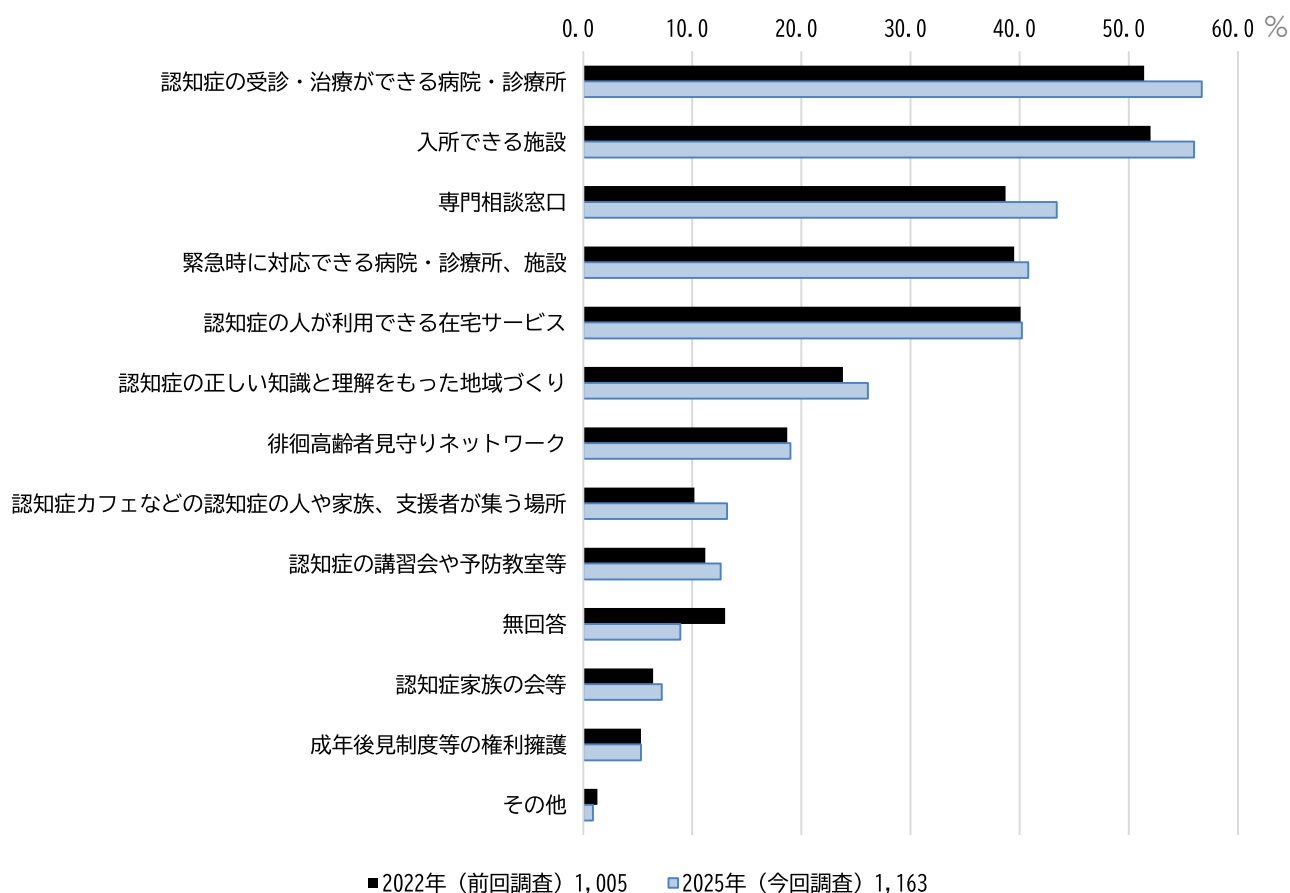
### 50 認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人の有無

「無い」が最も多く半数以上となっている。



### 51 認知症になっても安心して暮らすために充実が必要なこと

「認知症の受診・治療ができる病院・診療所」が最も多く5割以上となっている。次いで「入所できる施設」、「専門相談窓口」の順となっている。

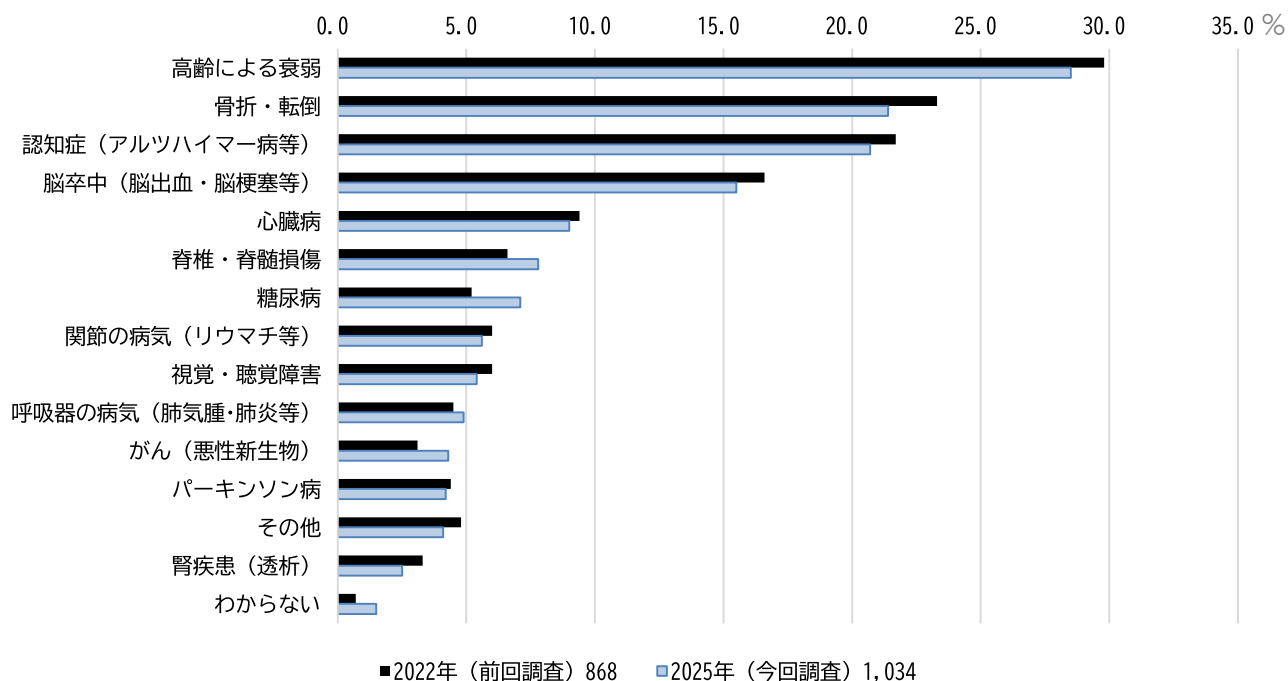




## 【介護の状況について】

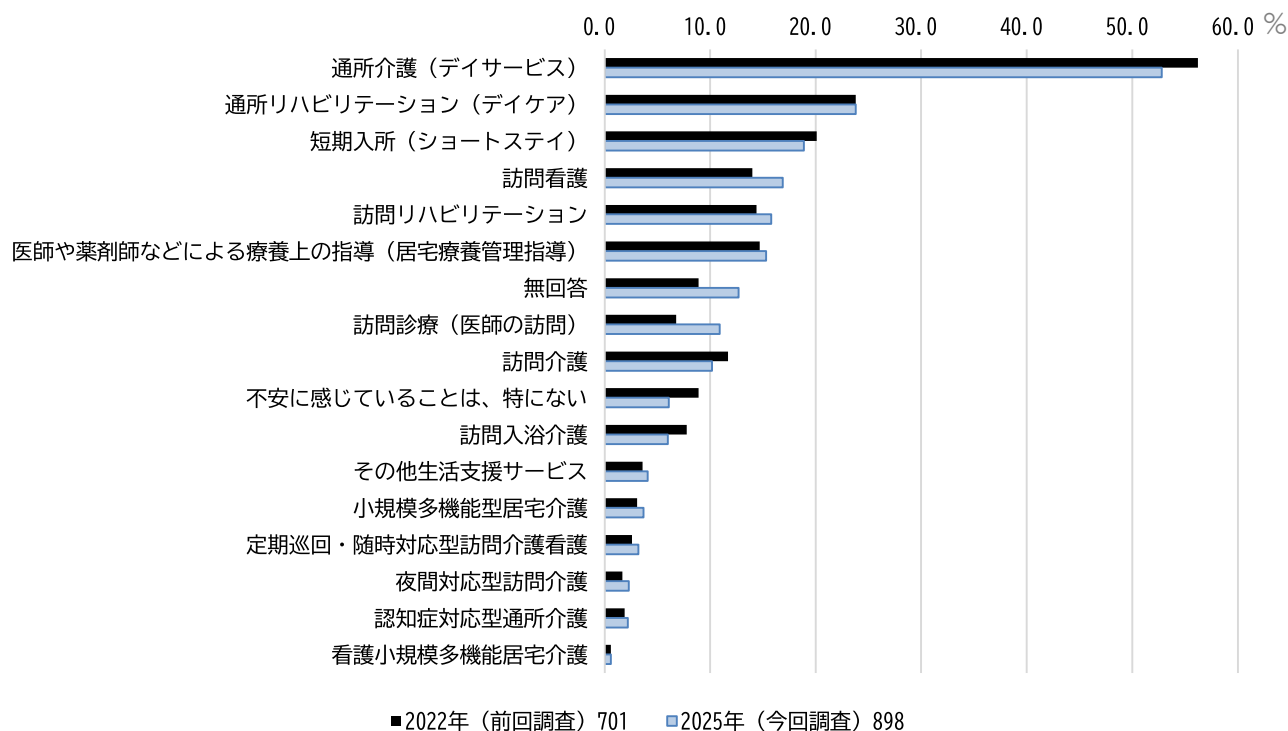
### 52 介護・介助が必要になった主な原因

「高齢による衰弱」が最も多く3割弱となっている。次いで「骨折・転倒」、「認知症」の順となっている。



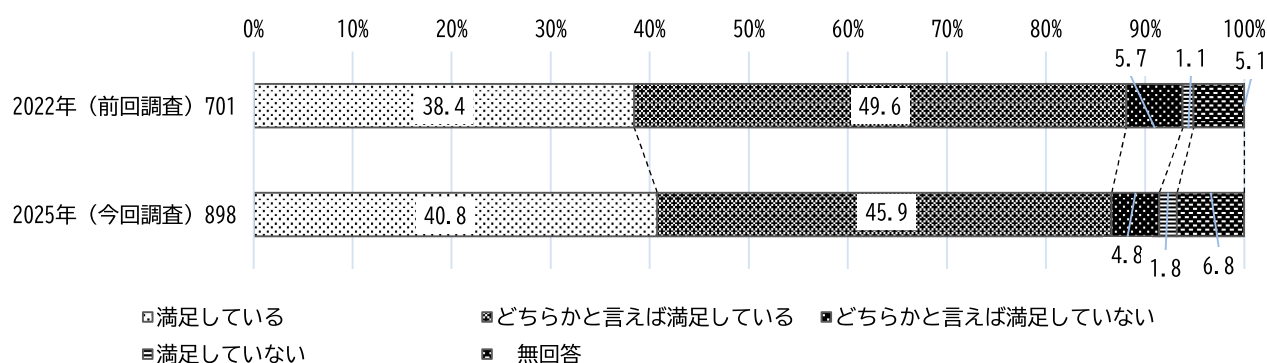
### 53 利用している在宅サービス(複数回答可)

「通所介護」が最も多く5割以上となっている。



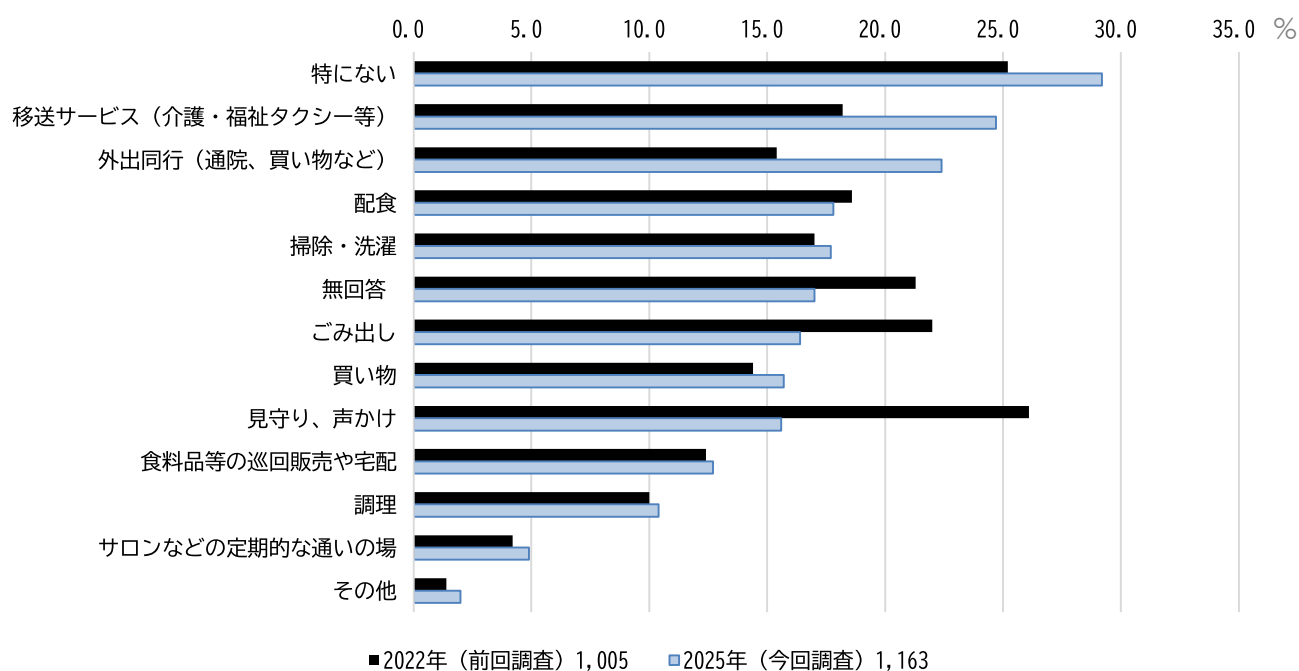
## 54 利用している介護保険サービスの満足状況

「満足している」（「満足している」「どちらかと言えば満足している」）が8割以上となっている。



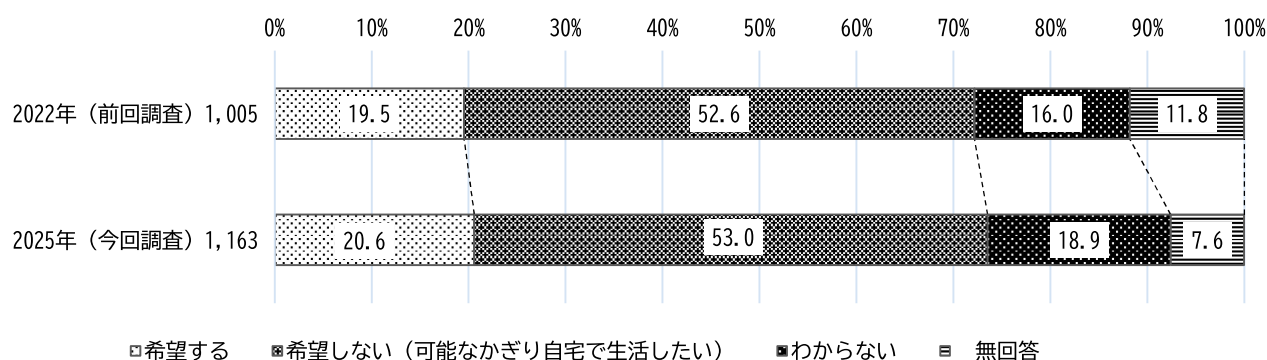
## 55 今後の自宅での生活の継続に必要と感じる支援・サービス

「特にない」が最も多く、次いで「移送サービス」、「外出同行」の順となっている。



## 56 自宅以外の施設等への入所希望

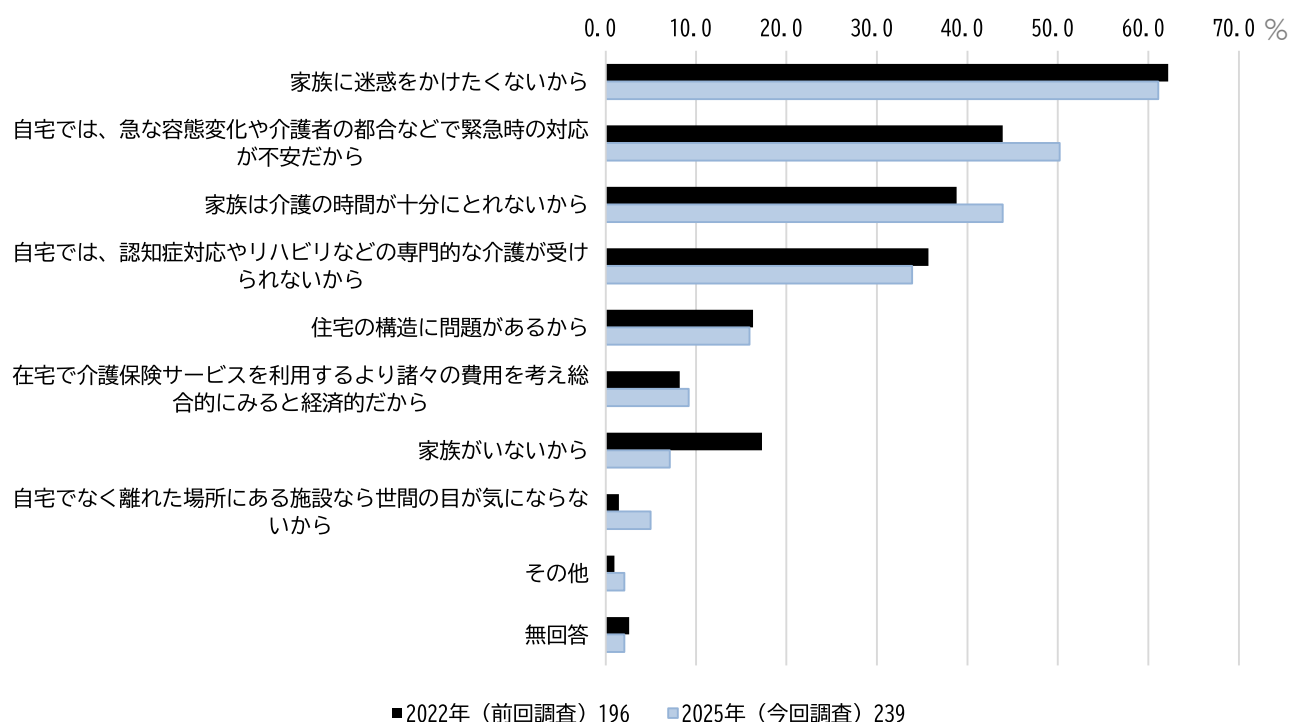
「希望しない」が最も多く、半数以上となっている。



## 57 施設等への入所を希望する理由

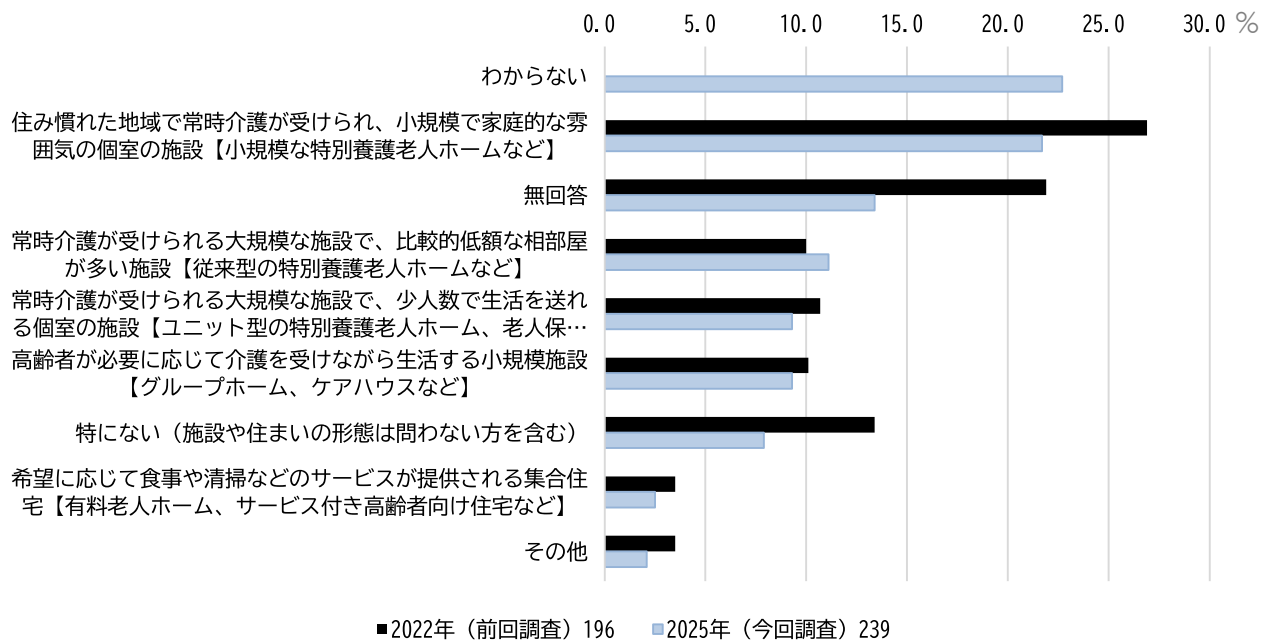
(56 で施設等への入所を希望する方のみ) (複数回答)

「家族に迷惑をかけたくないから」が最も多く、次いで「自宅では、急な容体変化や介護者の都合などで緊急時の対応が不安だから」の順となっている。



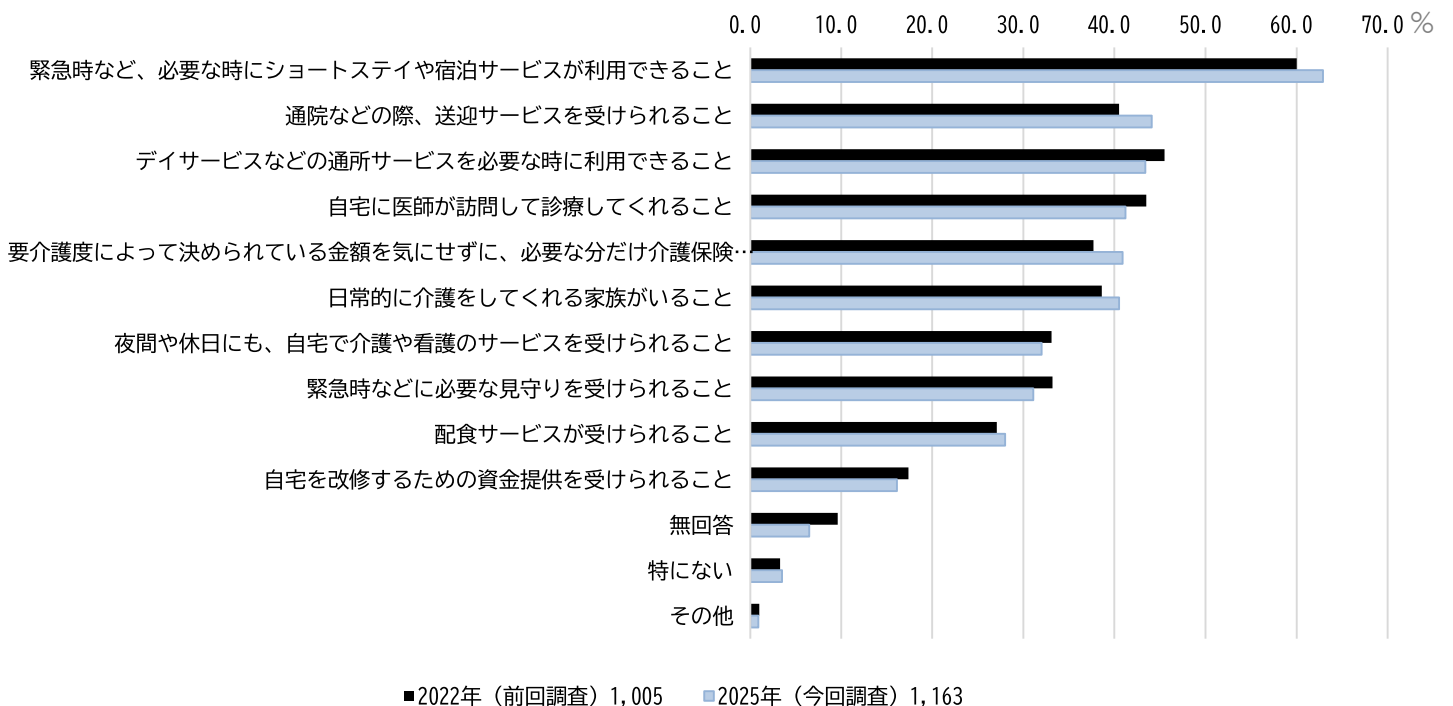
## 58 入所を希望する施設等の住まいの形態 (56で施設等への入所を希望する方のみ)

「わからない」に次いで「住み慣れた地域で常時介護が受けられ、小規模で家庭的な個室の施設」が多く、どちらも2割以上となっている。(前回調査「わからない」選択肢なし)



## 59 ずっと自宅で暮らしてつづけるためにあればいいと思う支援(複数回答可)

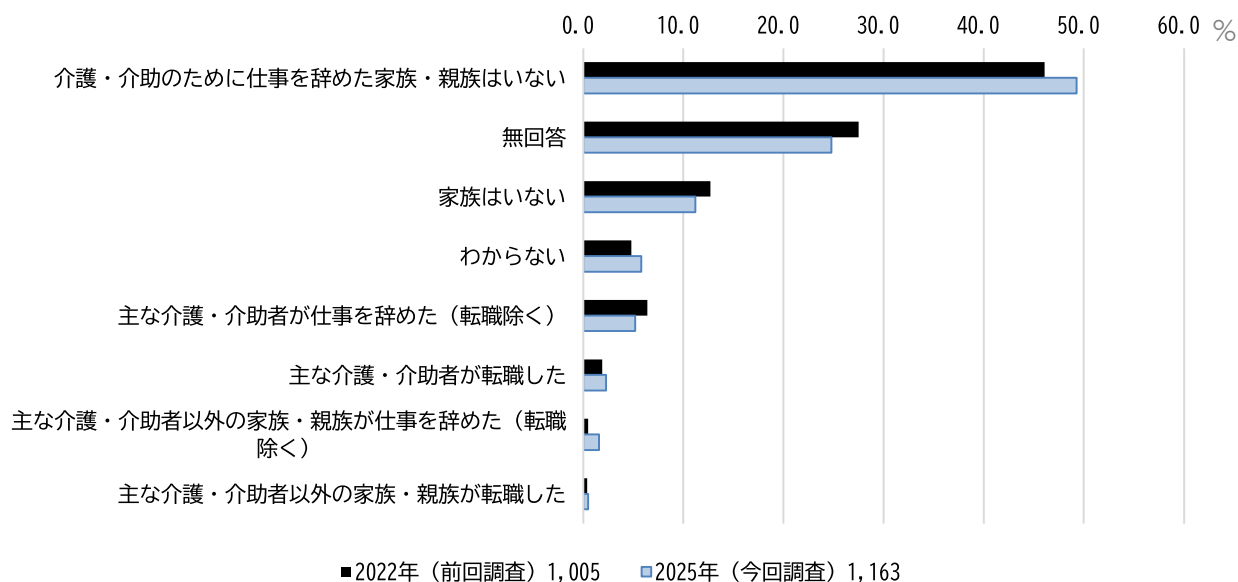
「緊急時など、必要な時にショートステイや宿泊サービスが利用できること」が最も多く、次いで「通院などの際、送迎サービスを受けられること」の順となっている。



## 【家族介護について】

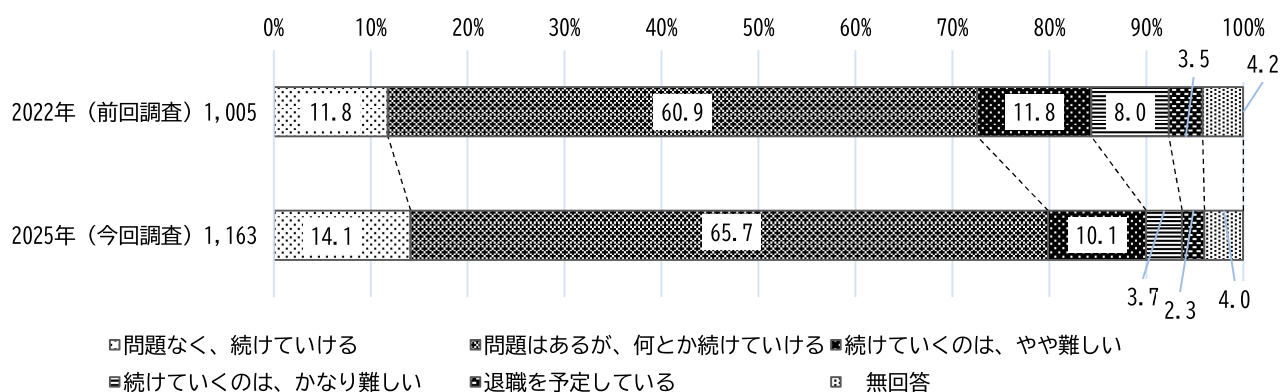
### 60 調査対象者の介護・介助を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めたり、転職した家族や親族の有無

「介護・介助のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多く5割弱となっている。

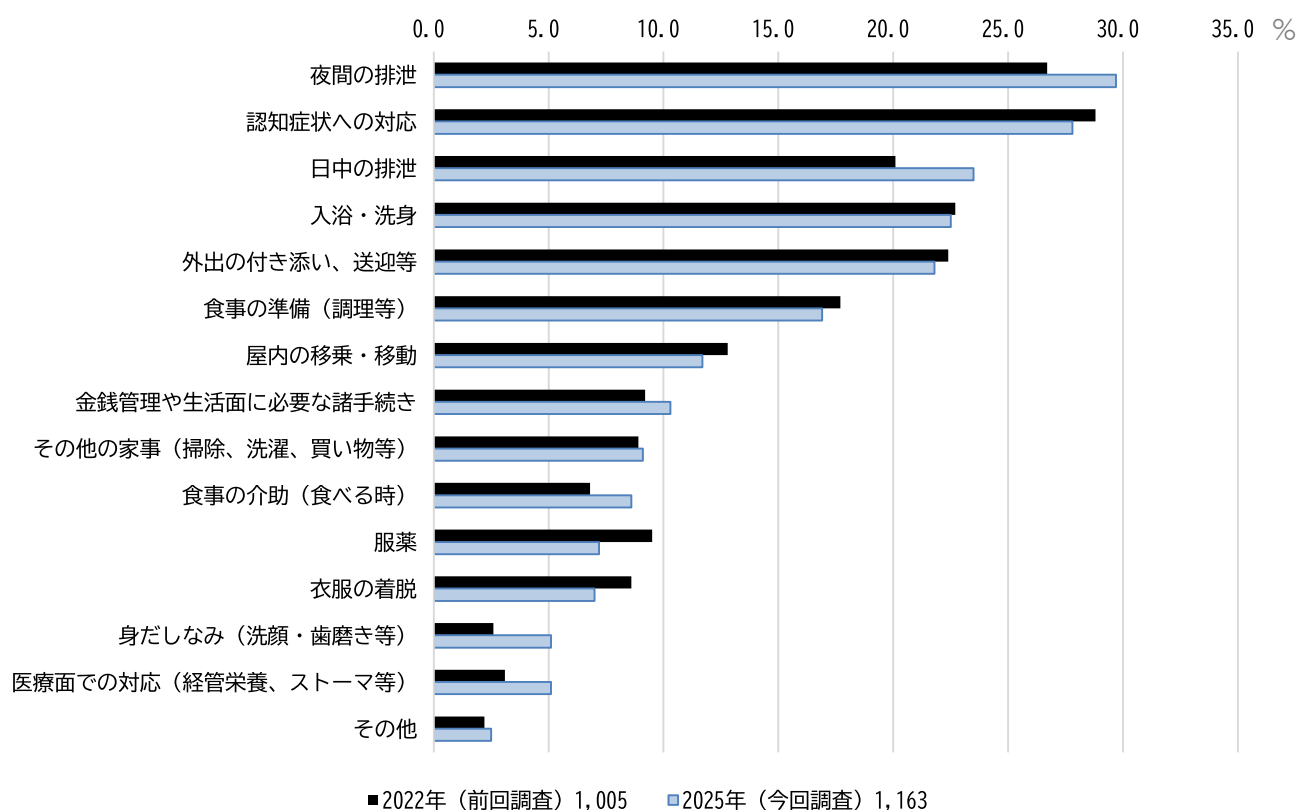


### 61 今後も働きながら介護・介助を続けていけそうか

「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く6割以上となっている。



62 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者・介助者が不安に感じる介護等  
「夜間の排泄」が最も多く、「認知症状への対応」、「日中の排泄」の順となっている。



《介護度別》

